Canon

Satera

ネットワークガイド／本編

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。下記はオプションに添付されている取扱説明書も含んでいます。購入された製品、システム構成によっては、お手元にない取扱説明書（ご利用になれない機種）があります。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **パソコンと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

設置ガイド

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**
- **印刷するには**
- **添付ソフトウェアの使いかたを知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／本編

- **ネットワークボードの取り付けかたを知るには**
- **TCP/IP ネットワーク（Windows）の設定方法を知るには**

ネットワークボードが標準搭載されているプリンタの場合のみ

ネットワークガイド／スタート編

- **いろいろなネットワークの設定方法を知るには**

ネットワークガイド／本編（本書）

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド

- **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには**

リモート UI ガイド

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書

オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

本書の構成について

- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

目次

第３章　NetWare ネットワークで使用するには（Windows）

第４章　NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）

第５章　AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh）

第 6 章　困ったときには

第 7 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

• **ご確認ください。**

CP660/680 LIPS-B1 をお使いのお客様は、内蔵プリントサーバのバージョンが 2.00 以上でないとリモート UI を使用することはできません。

バージョンはステータスプリントで確認することができます。

ステータスプリントの実行方法は、プリンタまたはプリンタボードに付属の取扱説明書を参照してください。

内蔵プリントサーバのバージョンアップ方法はキヤノン販売株式会社のホームページを参照してください。

キヤノン販売株式会社　ファームウェアアップデートページ

http://www.canon-sales.co.jp/drv-upd/nic/index-j.html

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となることなどの説明に、下記のマークを付けています。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンの表記について

本書に記載されているキー・ボタンは、お使いの機種によって形状が異なる場合があります。

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- プリンタ上のキー：[キー名称]

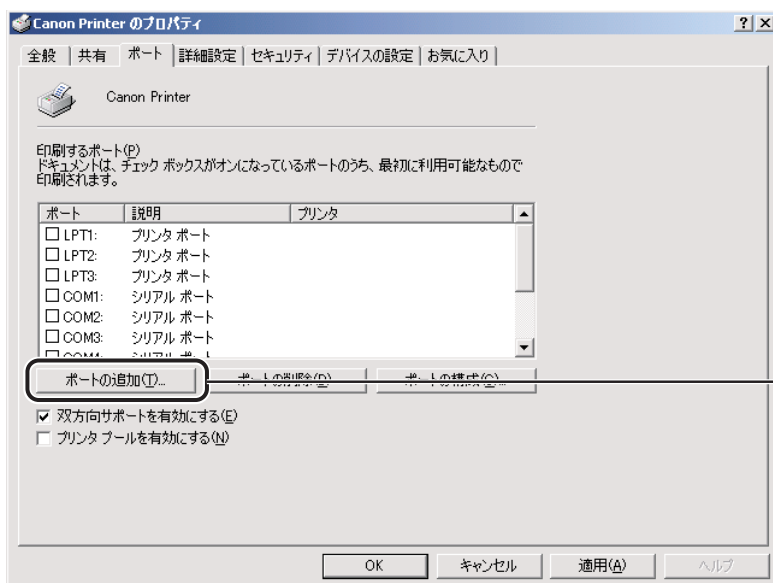
  例： [オンライン]

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例： [OK]
  　　 [追加]

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版：	Windows 95
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows
Novell NetWare®：	NetWare
CP680 または CP680II：	CP680

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、Mac OS、Power Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-UX は、米国 Hewlett-Packard Company の商標です。

IBM、AIX は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows ロゴ、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Netscape、Netscape Communicator、Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation 社の商標です。

Novell、NetWare®、NDPS、NDS は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

IPX/SPX、Novell Client は、米国 Novell, Inc. の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat は、米国 Red Hat Software の商標です。

Sun、Sun Microsystems、SunOS、Solaris は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Turbolinux は、Turbolinux, Inc. の商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

LASER5 は、レーザーファイブ株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1
CHAPTER

ご使用の前に

対応しているネットワーク環境やお使いのネットワーク環境の確認など、お使いになる前に知っていただきたいことについて説明しています。

必要なシステム環境

本プリンタが対応しているシステム環境について説明しています。

印刷するときに必要なシステム環境

本製品を使用して印刷するときは、使用するネットワークに応じて以下のシステム環境が必要です。

■ TCP/IP ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - · Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
  - · Microsoft Windows NT Server 3.51/4.0 日本語版
  - · Microsoft Windows NT Workstation 3.51/4.0 日本語版
  - · Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  - · Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - · Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  - · Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
  - · Microsoft Windows Server 2003 日本語版
  - · 日本語 Solaris Version 1.1.x（SunOS Version 4.1.x）以降
  - · 日本語 Solaris Version 2.5.x（SunOS Version 5.5.x）以降
  - · HP-UX Version 10.x 以降
  - · IBM-AIX Version 4.x 以降
  - · 日本語 Red Hat Linux 5.2 以降
  - · LASER5 Linux 6.0 以降
  - · Turbolinux 日本語版 3.0 以降
- 対応しているコンピュータ
  - · Windows 95/98/Me/NT/2000/XP/Server 2003 をお使いのときは、IBM PC 機／その互換機、PC-98 シリーズ

■ NetBIOS ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - · Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
- 対応しているコンピュータ
  - · IBM PC 機／その他互換機、PC-98 シリーズ
- コンピュータに必要なメモリ
  - · 16MB 以上

■ NetWare ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応しているサーバ
  - Novell NetWare Version 3.20J/4.1J/4.11J/4.20J/5.0J/5.1J
- 対応しているクライアント
  - Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
  - Microsoft Windows NT Server 3.51/4.0 日本語版
  - Microsoft Windows NT Workstation 3.51/4.0 日本語版
  - Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  - Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  - Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
  - Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- 対応しているコンピュータ
  - IBM PC 機／その互換機、PC-98 シリーズ

■ AppleTalk ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応しているコンピュータ
  - 68040以上のプロセッサを搭載したMacintoshシリーズまたはPower Macintoshシリーズ
- 対応している OS
  - Mac OS 8.0 以降
- 対応している AppleTalk
  - フェーズ 2 の EtherTalk
- コンピュータに必要なメモリ
  - Macintosh シリーズは 12MB 以上、Power Macintosh シリーズは 16MB 以上(Mac OS 8.5、8.6 のときは 24MB 以上、Mac OS 9 のときは 32MB 以上)

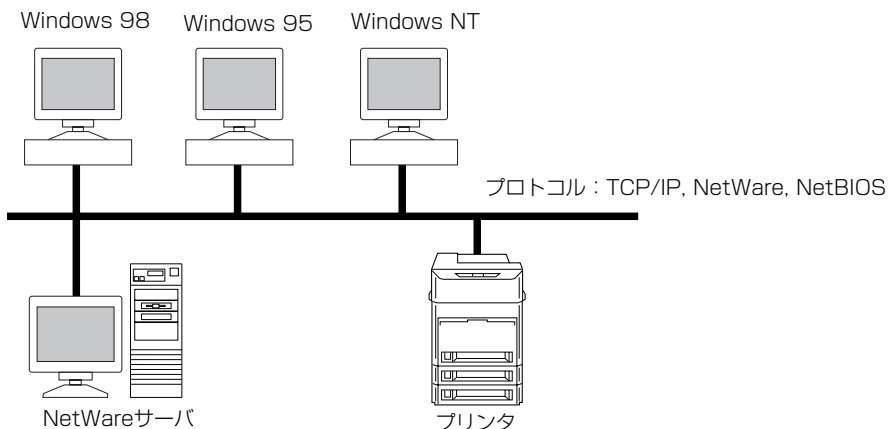
重要
- Windows NT をお使いのときは、Service Pack 5 以降をインストールしてください。
- 本製品は、Macintosh の LocalTalk ネットワークには対応していません。

お使いのネットワーク環境の確認

以下の図を参考に、プリンタを接続するネットワーク環境を確認して、必要な作業を行ってください。

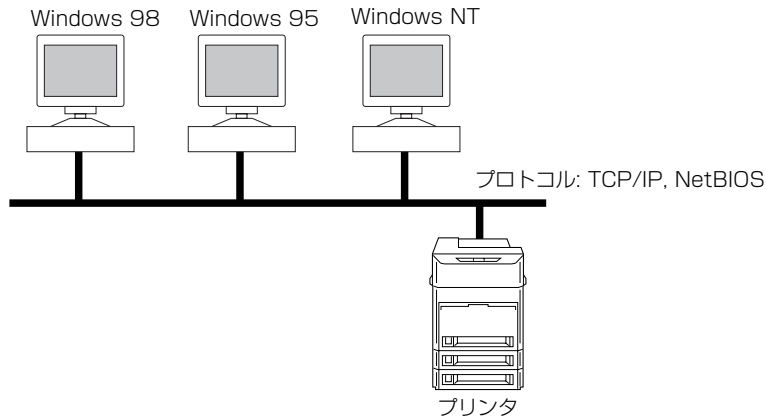
Windows のネットワークの例

NetWare サーバがある場合

下図のようなネットワーク環境の場合、プロトコルは TCP/IP、NetWare、NetBIOS のいずれかが使用できます。また、同時に複数のプロトコルを使用することもできます。NetBIOS は Windows 95/98/Me のみ使用できます。

使用するプロトコルに合わせて、以下を参照してください。

- 「第２章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」
- 「第３章　NetWare ネットワークで使用するには（Windows）」
- 「第４章　NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）」

NetWare サーバがない場合

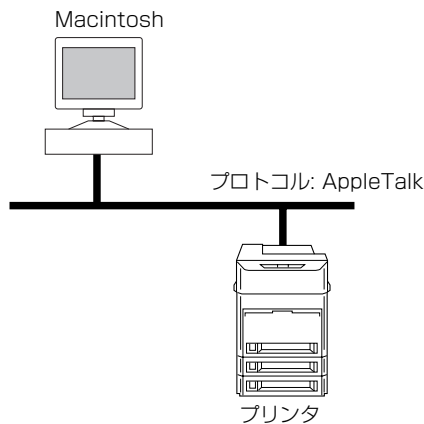
下図のようなネットワーク環境の場合、プロトコルは TCP/IP、NetBIOS のいずれかが使用できます。また、同時に複数のプロトコルを使用することもできます。NetBIOS は Windows 95/98/Me のみ使用できます。

使用するプロトコルに合わせて、以下を参照してください。

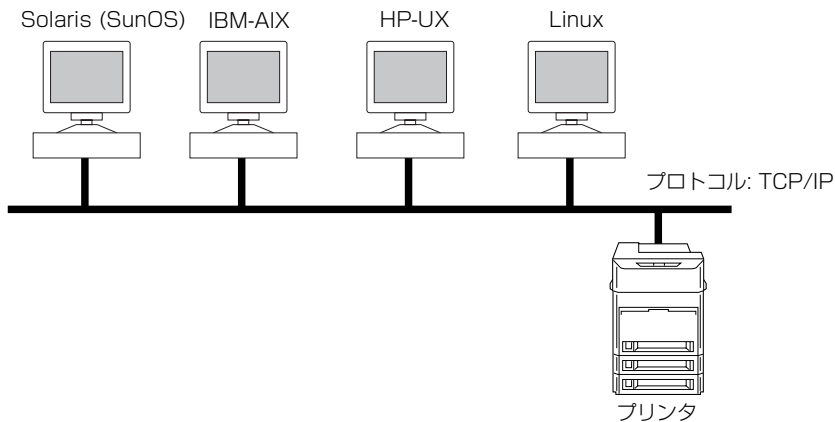
- 「第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」
- 「第 4 章　NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）」

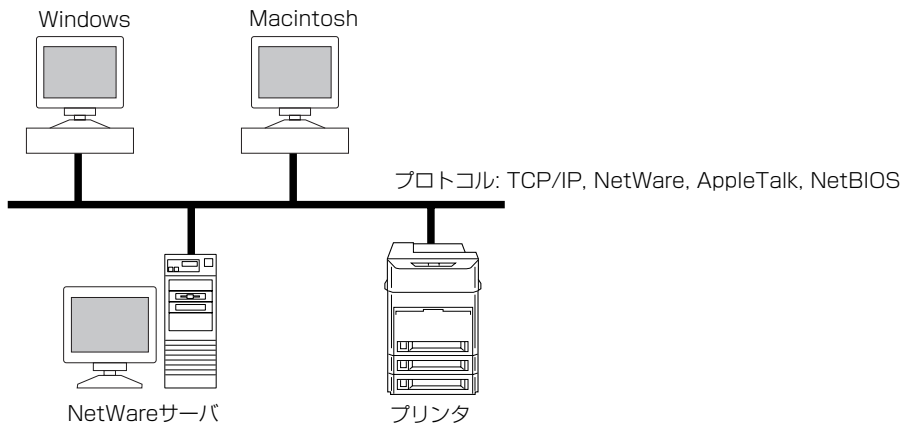
メモ

- 上記の作業を行うと、印刷を行う各コンピュータが、直接ネットワークプリンタに印刷するようになります。TCP/IP プロトコルを使用する場合は、ネットワーク上の Windows NT/2000/XP/Server 2003 をプリントサーバに設定することで、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバの設定手順については、LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書）「第 2 章　Windows から印刷するには」のプリントサーバ環境のときの手順を参照してください。
- Windows 95/98/Me のみのネットワーク環境で TCP/IP プロトコルを使用していない場合は、NetBIOS プロトコルをお使いになると、簡単な設定だけで使用できます。

Macintosh のネットワークの例

Macintosh では、使用するプロトコルは AppleTalk（EtherTalk）になります。（→第 5 章　AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh））

UNIX のネットワークの例

UNIX では、使用するプロトコルは TCP/IP になります。（→第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX））

いろいろなコンピュータが混在しているネットワークの例

いろいろなコンピュータが混在しているときは、使用しているコンピュータに応じて各作業を行います。
例えば、Windows 95 と Macintosh を使用している場合は、「Windows のネットワークの例」と「Macintosh のネットワークの例」の両方の設定を行ってください。

使用するプロトコルに合わせて、以下を参照してください。

- 「第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」
- 「第 3 章　NetWare ネットワークで使用するには（Windows）」
- 「第 4 章　NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）」

TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）

TCP/IP ネットワークでプリンタを使用するための設定方法について説明しています。

TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業

TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1 ネットワークボードの取り付けとケーブル（→ネットワークガイド／スタート編）

「ネットワークガイド／スタート編」に従って、ネットワークボードをプリンタに取り付けたあと、ネットワークケーブルを接続します。ただし、ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けが必要ありません。ネットワークケーブルの接続のみを行ってください。また、ネットワークに標準対応しているプリンタにプリントサーバNB-5F をセットする場合の動作は保証されておりません。

2 プロトコル設定の準備（→P.2-4）

プリンタのプロトコルを設定する前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるように設定します。以下のいずれかを使用して設定できます。

- NetSpot Device Installer
  NetSpot Device Installerは、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。
- ARP/PING コマンド
- プリンタの操作パネル

3 プリンタのプロトコル設定（→P.2-11）

プリンタのプロトコル設定を行います。以下のいずれかのソフトウェアを使用してコンピュータ上から設定できます。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント
- Web ブラウザ（NetSpot Console）
  NetSpot Console は、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。

4 印刷を行うコンピュータの設定（→P.2-23）

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

重要

- 手順 1、2、3 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。
- TCP/IP ネットワークで印刷するときは、以下のプリントアプリケーションが使用できます。
  ･LPD
  ･FTP
  ･Raw
  ･IPP
- 本製品には、各 UNIX で利用できるプリンタドライバソフトウェアは付属していません。
- 以下のプリンタをお使いのときは、手順２の作業をプリンタの操作パネルで行うことはできません。他の方法で行ってください。
  ･LBP-2260/2200/2040/910/880/870/840
  ･CP680/660

Windows で Raw または IPP をお使いになる場合は、プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールすることをおすすめします。Canon LPR2 のインストールについては、ソフトウェアの CD-ROM に入っている「Canon LPR2 ユーザーズガイド」(PDF 取扱説明書)を参照してください。

プリンタのプロトコル設定の準備

プリンタのプロトコルを設定する前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるように、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使用して行います。使いやすい方法で設定してください。

- NetSpot Device Installer
  NetSpot Device Installer は、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。
- ARP/PING コマンド
- プリンタの操作パネル

重要

- NetSpot Device Installer が対応していない OS をお使いの場合は、ネットワーク上にある他のコンピュータから設定を行うか、ARP/PING コマンドまたはプリンタの操作パネルを使用して設定を行ってください。
- 以下の作業では、プリンタの MAC アドレスとネットワークボード名が必要になります。MAC アドレスとネットワークボード名を確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行ってコンフィグプリントを実行してください。
  1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。
  2. ［ユーティリティ］を押します。
  3. ［<］、［>］で「ヒョウジュン N/W プリント」(ネットワークに標準対応していないプリンタのときは「カクチョウ I/F プリント」) を選択したあと、［V］を押します。
     MAC アドレスはステータスプリントの左下の［ベンダーインフォ］に、ネットワークボード名は［ボード名称］（または［製品名称］）に表示されます。
- 以下の作業を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。
- ARP/PING コマンドを使用する場合、以下の作業ではプリンタに直接 IP アドレスを割り当てます。本製品は、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリセット時は、DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。このときは、プリンタの IP アドレスは自動的に割り当てられますので、以下の作業を行う必要がありません。IP アドレスを割り当てなおすときや、DHCP、BOOTP、RARP が使用できないときは、以下の作業を行ってください。

NetSpot Device Installer による設定

1 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニュー画面が自動的に表示されます。

メモ　CD-ROM メニューが起動しない場合は、[マイコンピュータ] の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM メニューの [NetSpot Device Installer] をクリックします。

メモ　お使いの環境によっては、画面内容が異なることがあります。

3 [CD-ROM から起動（TCP/IP 版）] をクリックします。

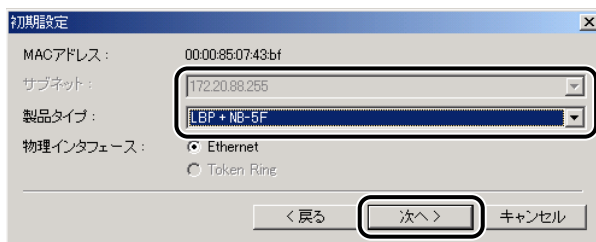
[使用許諾契約書] が画面に表示されます。

4 内容を確認したあと、[同意します］をクリックします。

NetSpot Device Installer が起動します。

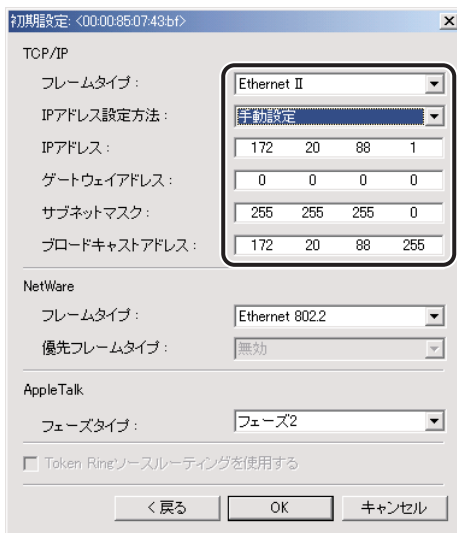
5 デバイスリストで［状態］が［未設定］となっていて、[デバイス名］に本製品のMAC アドレスが表示されているデバイスを選択します。

6 右クリックして、メニューから［初期設定］を選択します。

7 ［初期設定］ダイアログボックスで以下の項目を設定したあと、[次へ］をクリックします。

設定する項目

[サブネット]：NetSpot Device Installer を実行しているコンピュータが複数のネットワークに接続されている場合（複数のネットワークインタフェースボードが装着されている場合）は、設定するデバイスが属しているサブネットを選択します。

[製品タイプ]：お使いのプリンタの製品名を選択します。プリンタの製品名がリストにないときは、[LBP+NB-5F] を選択します。

8 TCP/IP のプロトコルを設定します。

設定する項目

[フレームタイプ]：　Ethernet II を選択します。

[IP アドレス設定方法]：　IP アドレスの設定方法を選択します。

・[手動設定]：直接 IP アドレスを指定します。[IP アドレス] に入力した IP アドレスが、ネットワークボードに設定されます。

・[DHCP]：DHCP を使用して IP アドレスを取得します。（DHCP サーバが起動されている必要があります。）

[IP アドレス]：　ネットワークボードの IP アドレスを入力します。

[ゲートウェイアドレス]：　TCP/IP ネットワークで使用しているゲートウェイアドレスを入力します。

[サブネットマスク]：　TCP/IP ネットワークで使用しているサブネットマスクを入力します。

[ブロードキャストアドレス]：TCP/IP ネットワークで使用しているブロードキャストアドレスを入力します。

メモ
- ［フレームタイプ］を［無効］に設定すると、TCP/IP ネットワーク上でネットワークボードが認識されなくなります。
- DHCP を選択したときは、[IP アドレス]、[ゲートウェイアドレス]、[サブネットマスク]、［ブロードキャストアドレス］は入力できません。
- DHCP を使用できないときは、［手動設定］に設定してください。

9 **設定が終了したら、[OK］をクリックします。**

10 **「デバイスをリセットしました」と表示されたら、[OK］をクリックします。**

リセットが完了すると、設定が有効になります。

これでプリンタのプロトコル設定の準備は完了しました。

ARP/PING コマンドによる設定

1 **MS-DOS プロンプト、またはコマンドプロンプトを起動します。**

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示して、スーパーユーザとしてログインします。

2 **以下のコマンドを実行して、arp テーブルに静的なエントリを追加します。**

arp -s ＜ IP アドレス＞ ＜ MAC アドレス＞

IP アドレス：　プリンタに割り当てる IP アドレスを指定します。「.」で区切られた 4 つの数字（0 ～ 255 の数字）で指定します。

MAC アドレス：　プリンタの MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「-」（UNIX をお使いの場合は「：」）で区切って入力します。

入力例（Windows）：arp -s 192.168.0.215 00-00-85-05-70-31

入力例（UNIX）：　arp -s 192.168.0.215 00:00:85:05:70:31

メモ
IBM-AIX をお使いの場合は、「arp -s ether ＜ IP アドレス＞＜ MAC アドレス＞」と入力してください。

3 以下のコマンドを実行して、ネットワークボードにIPアドレスを設定します。

実行するコマンド

ping < IPアドレス > -l 479	（Windowsをお使いの場合）
ping -s < IPアドレス > 479	（Solaris 1.x/2.xをお使いの場合）
ping < IPアドレス > 479	（IBM-AIXをお使いの場合）
ping < IPアドレス > 487	（HP-UXをお使いの場合）
ping -s 479 < IPアドレス >	（Red Hat Linux/LASER5 Linuxをお使いの場合）
ping -s 480 < IPアドレス >	（Turbolinuxをお使いの場合）

IPアドレス：　手順2で使用したIPアドレスと同じアドレスを指定します。
入力例（Windows）：ping 192.168.0.215 -l 479

メモ
- 「-l」のlは、アルファベットのl（エル）です。
- サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、[0.0.0.0]に設定されます。

これでプリンタのプロトコル設定の準備は完了しました。

プリンタの操作パネルによる設定

重要
- 以下のプリンタをお使いのときは、プリンタの操作パネルによる設定は行えません。他の方法で行ってください。
  - ・LBP-2260/2200/2040/910/880/870/840
  - ・CP680/660
- 操作パネルの設定手順の詳細については、LIPS機能ガイド（PDF取扱説明書）巻末のメニュールートマップを参照してください。

1 プリンタの操作パネルで［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。

2 ［セットアップ］を押して、［<］、［>］で「インタフェース」を選択したあと、［V］を押します。

3 ［<］、［>］で「ヒョウジュン ネットワーク」を選択したあと、［V］を押します。

メモ
ネットワークに標準対応していないプリンタのときは、「ヒョウジュンネットワーク」の代わりに「カクチョウネットワーク」を選択してください。

4 [<]、[>] で「TCP/IP」を選択したあと、[V] を押します。

5 [<]、[>] で「フレームタイプ」を選択したあと、[V] を押します。

6 [<]、[>] で「ETHERNET 2」を選択したあと、[V] を押します。

7 IP アドレスの設定方法を選択します。

❑ [<]、[>] で「IP モード」を選択したあと、[V] を押します。

❑ DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、[<]、[>] で「ジドウ」を選択したあと、[V] を押します。
プリンタに直接 IP アドレスを割り当てる場合は、[<]、[>] で「シュドウ」を選択したあと、[V] を押します。

8 プリンタの IP アドレスを設定します。

● 手順 7 で「ジドウ」を選択した場合

❑ [<]、[>] で「プロトコル」を選択したあと、[V] を押して、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」をそれぞれ「オン」(使用する) か「オフ」(使用しない) に設定します。

❑ [Λ] を 2 回押します。

● 手順 7 で「シュドウ」を選択した場合

❑ [<]、[>] で「アドレス」を選択したあと、[V] を押して、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。

❑ [Λ] を 3 回押します。

メモ 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」は、以下の方法で設定してください。

1. [<]、[>] で目的のフィールドを選択したあと、[V] を押します。
2. [<]、[>] で目的の数値を選択したあと、[V] を押します。
3. すべてのフィールドに対して、1 ～ 2 を繰り返します。

9 [<]、[>] で「セッテイ トウロク」を選択したあと、[V] を押します。

操作パネルに「ジッコウシマスカ?」と表示されます。

10 [V] を押します。

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。ここでは、Web ブラウザ（リモートUI)、FTP クライアントを使用して設定する方法について説明しています。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント
- Web ブラウザ（NetSpot Console）
  NetSpot Console は、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。

重要
- NetSpot Console をお使いの場合は、ネットワーク上にあるいずれかのコンピュータに NetSpot Console がインストールされている必要があります。ネットワーク上にあるいずれかのコンピュータに NetSpot Console をインストールしてください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書））また、NetSpot Console でプロトコルを設定するには、管理者の権限が必要です。管理者モードにログインしてください。詳しい操作方法については、NetSpot Console のオンラインヘルプを参照してください。
- 「LIPS ソフトウェアガイド／本編」は、Adobe Acrobat Reader を使って画面上に表示、印刷することができる PDF 取扱説明書で、プリンタに付属の CD-ROM に収められています。
- NetSpot Consoleが対応しているOSがネットワーク上にない場合は、リモートUI、FTP クライアントを使用して設定を行ってください。
- これらのソフトウェアをお使いのときは、プリンタに付属のCD-ROMをお使いください。

リモート UI による設定

1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

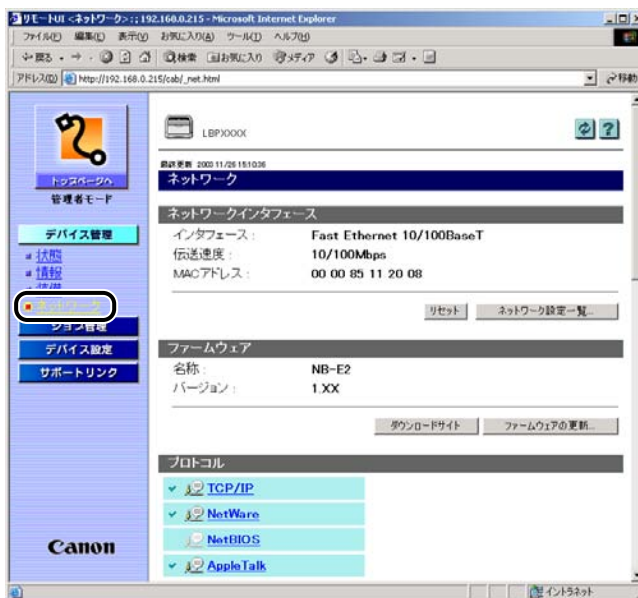
入力例： http://192.168.0.215/

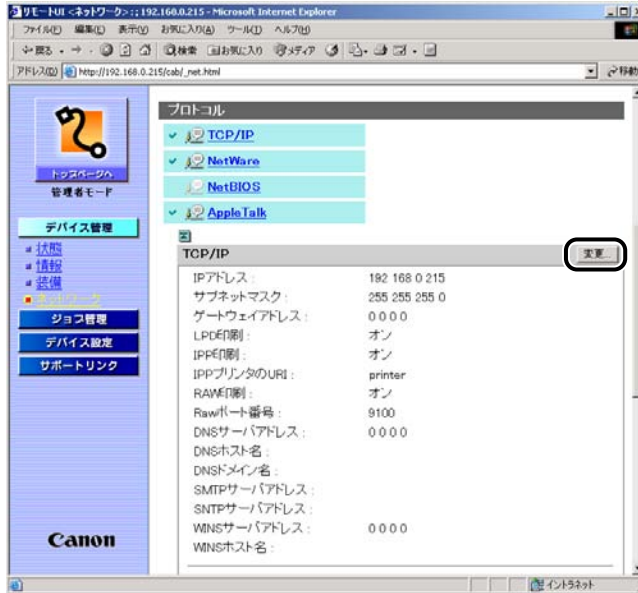
重要
- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降、または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- Turbolinux 4.0をお使いの場合は、Netscape Communicator 4.08で本製品の設定を行うことはできません。他のバージョンの Web ブラウザをお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

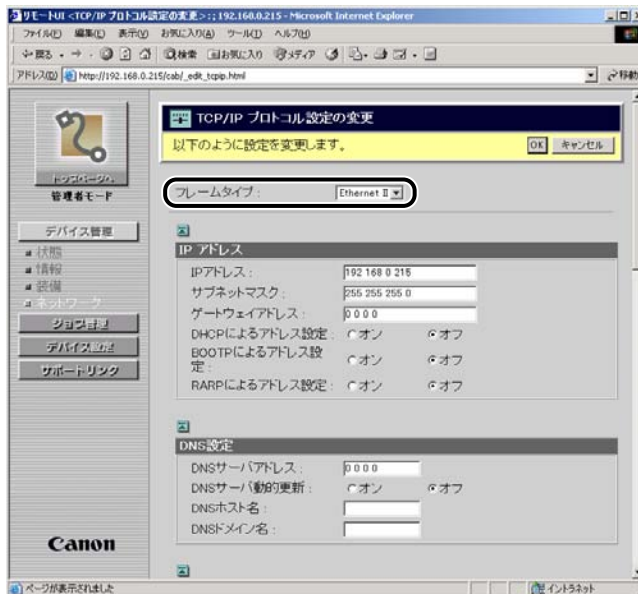
2 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。

リモート UI が起動します。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［ネットワーク］をクリックします。

［ネットワーク］ページが表示されます。

4 ［TCP/IP］の右にある［変更］をクリックします。

［TCP/IP プロトコル設定の変更］ページが表示されます。

5 ［フレームタイプ］で［Ethernet II］を選択します。

メモ

- [無効] を選択すると、TCP/IP ネットワーク上でネットワークボードが認識されなくなります。
- [無効] にしたプリンタを使用するには、「プリンタのプロトコル設定の準備」(→ P.2-4)を参照してください。

6 [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定します。

[IP アドレス] には、プリンタの IP アドレスを指定します。[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。

メモ

- DHCP、BOOTP、RARPのいずれかをお使いの場合でも、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定しておいてください。DHCP、BOOTP、RARPのサーバから情報を取得できなかった場合、ここで設定した値を使用します。
- DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用する設定を行った場合、本製品の再起動後は、これらから取得した値が表示されます（あらかじめ設定してあった場合は、DHCP、BOOTP、RARP で取得できた項目については上書きされます）。

7 プリンタのIPアドレスの設定方法を指定します。[DHCPによるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定] のうち、IP アドレスの設定に使用する項目を [オン] にします。

本製品は、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリセット時は、DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。[DHCP によるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定] を [オフ] にしたときは、その項目のチェックは行われません。

これらがいずれも使用できないときは、[IP アドレス] に設定されている IP アドレスを割り当てます。

メモ

- DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかのチェックは 1 〜 2 分程度かかりますので、使用しない項目を [オフ] にすることをおすすめします。
- DHCP、BOOTP、RARP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、BOOTP デーモン、RARP デーモンが起動されている必要があります。

8 DNS サーバ、DNS の動的更新機能を使用する場合は、DNS を設定します。

これらを使用しない場合は、手順 10 に進みます。

❑ [DNS サーバアドレス] に、DNS サーバの IP アドレスを入力します。

❑ [DNS ホスト名] に、DNS サーバに登録する本製品のホスト名を設定します。

❑ ［DNS ドメイン名］に、本プリンタの所属するドメイン名を入力します。

入力例： sales_dept.xyz_company.co.jp

メモ

本製品では、DNS は以下の場合に使用されます。

- DNS の動的更新機能を利用するとき（手順 9 で［DNS 動的更新］を［オン］に設定したとき）
- SMTP サーバ名の名前解決を使用するとき（手順 14 で SMTP サーバを名前で指定したとき）

9 DNS の動的更新を設定します。

❑ DNS サーバへの動的更新機能を使用する場合は、［DNS サーバ動的更新］を［オン］に設定します。

動的更新機能を使用しない場合は、［オフ］に設定します。

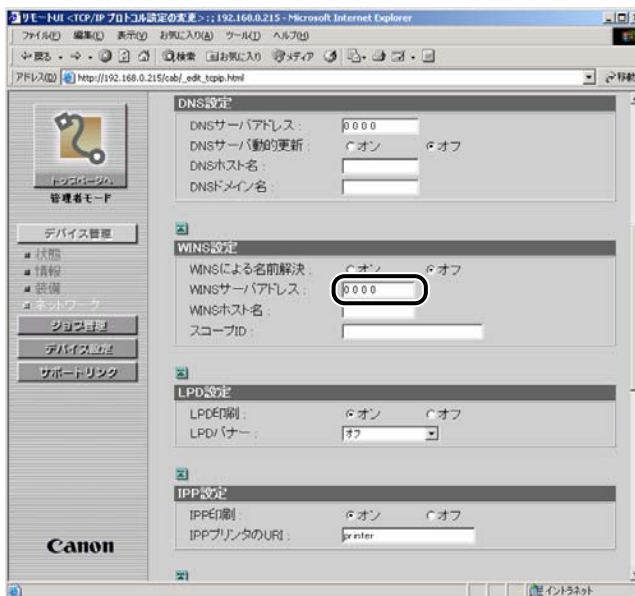
重要

- DNS の動的更新とは、デバイスの IP アドレスとホスト名、ドメイン名に指定した名前を自動的に DNS サーバに登録する機能です。この機能は、ダイナミック DNS サーバがある環境で使用することができます。
- DNSの動的更新機能を使用するには、DNS サーバのIP アドレスと本製品のホスト名･ドメイン名の設定（手順 8）が必要です。
- この機能を使用して、LPR で［DNS ホスト名］と［DNS ドメイン名］を指定することで、本プリンタの IP アドレスを固定しなくても使用できるようになります。

10 WINS の設定を行います。

● WINS による名前解決を使用する場合

❑ ［WINS による名前解決］を［オン］に設定します。

❑ ［WINS サーバアドレス］に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。

❑ ［WINS ホスト名］に、WINS サーバに登録するホスト名を入力します。

❑ ［スコープ ID］に、WINS サーバから検索したい NetBIOS 名のスコープ ID を入力します。

文字列をドットで区切って入力することで、絞込検索が行えます。

● WINS による名前解決を使用しない場合

❑ ［WINS による名前解決］を［オフ］に設定します。

11 LPD を使用するかどうかを設定します。

● プリントアプリケーションとして LPD を使用する場合

❑ ［LPD 印刷］を［オン］に設定します。

❑ ［LPD バナー］で、バナーページ（各プリントジョブの区切りページ）の出力方法を選択します。

選択する項目

自動：　バナーページを出力するように設定されているプリントジョブのときは、バナーページを出力します。設定されていないプリントジョブのときは、バナーページを出力しません。

オン（最後に挿入）：　プリントジョブのバナーページの出力設定に関わらず、常にバナーページを出力します。バナーページは、最後のページに出力されます。

オフ：　プリントジョブのバナーページの出力設定に関わらず、常にバナーページを出力しません。

● プリントアプリケーションとして LPD を使用しない場合

❑ ［LPD 印刷］を［オフ］に設定します。

メモ　お使いの OS や LPR によっては、バナーページの出力を設定できないことがあります。このようなときに、［自動］以外に設定することで、バナーページの出力を設定することができます。

12 IPP を使用するかどうかを設定します。

● プリントアプリケーションとして IPP を使用する場合

❑ ［IPP 印刷］を［オン］に設定します。

❑ ［IPP プリンタの URI］を指定します。

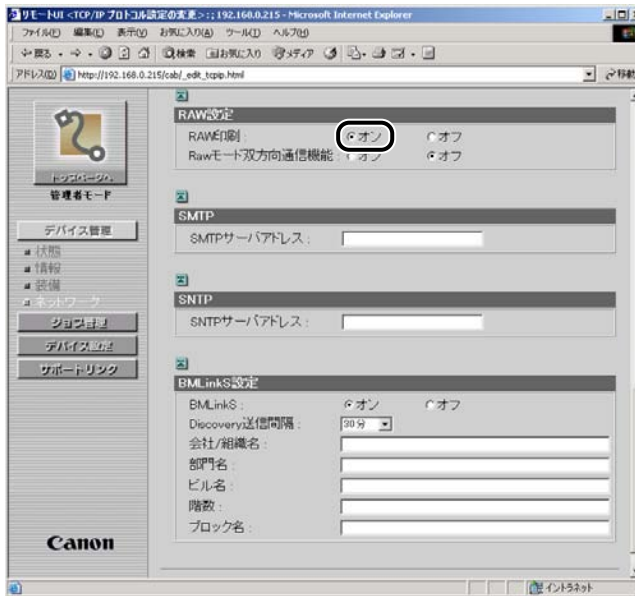
メモ　通常は、変更する必要はありません。

● プリントアプリケーションとして IPP を使用しない場合

❑ ［IPP 印刷］を［オフ］に設定します。

13 Raw を設定します。

● プリントアプリケーションとして Raw を使用する場合

❑［RAW 印刷］を［オン］に設定します。

❑ 双方向通信を行うときは、［Raw モード双方向通信機能］を［オン］に設定します。

双方向通信を行わないときには、［オフ］に設定します。

メモ　通常は、変更する必要はありません。

● プリントアプリケーションとして Raw を使用しない場合

❑［RAW 印刷］を［オフ］に設定します。

14 紙づまりが起きた場合などに、プリンタ状況を電子メールで送信する機能を利用するときは、メールサーバの設定を行います。

● 手順 8 で DNS を設定したとき

❑［SMTP サーバアドレス］に、メールサーバのサーバ名を入力します。

入力例： mail_server.sales_dept.xyz_company.co.jp

● 手順 8 で DNS を設定していないとき

❏ [SMTP サーバアドレス] に、メールサーバの IP アドレスを入力します。

❏ [DNS ドメイン名] に、SMTP サーバに送るメールの送信元ドメイン名を入力します。

入力例： sales_dept.xyz_company.co.jp

メモ　この機能を利用するときは、さらに詳細な設定を行う必要があります。（→プリンタ状況の電子メールによる通知：P.2-42）

15 時刻情報を得るためにSNTP クライアント機能を利用するには、SNTP サーバの設定を行います。

● 手順 8 で DNS を設定したとき

❏ [SNTP サーバアドレス] に、SNTP サーバのサーバ名を入力します。

● 手順 8 で DNS を設定していないとき

❏ [SNTP サーバアドレス] に、SNTP サーバの IP アドレスを入力します。

メモ　SNTP サーバ機能は、以下の機種をお使いの場合に利用することができます。
· LBP5800
· LBP5700
· LBP5500
· LBP3800
· LBP3700

16 BMLinkS を設定します。

メモ
- BMLinkS は、プリンタが TIFF プリント機能をサポートしている場合にのみ使用できます。
- プリンタがTIFFプリント機能をサポートしていない場合は、リモートUIからBMLinkSを設定することはできません。

● BMLinkS を使用する場合

❏ [BMLinkS] を [オン] に設定します。

❏ [Discovery 送信間隔] で、プリンタの機器情報をネットワークに送信する間隔を設定します。

30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、24 時間から選択できます。

❏ 必要に応じて、[会社 / 組織名]、[部門名]、[ビル名]、[階数]、[ブロック名] を設定します。

● BMLinkS を使用しない場合

❏ [BMLinkS] を [オフ] に設定します。

17 ［OK］をクリックします。

ネットワークボードのリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ　ネットワークボードをリセットするときは、左側の［デバイス管理］の［ネットワーク］をクリックしたあと、［リセット］をクリックします。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

FTP クライアントによる設定

1 MS-DOS プロンプト、またはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示します。

2 次のコマンドを実行します。

ftp <プリンタの IP アドレス>

3 ユーザ名として、「root」を入力します。

● プリンタにパスワードを設定しているとき

❑ パスワードを入力します。

● プリンタにパスワードを設定していないとき

❑ パスワードは入力せずに、キーボードの［ENTER］キーのみを押します。

メモ
- ユーザ名は、「root」以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。
- Anonymous ログインはできません。

4 次のコマンドを実行して、config ファイルをダウンロードします。

get config

5 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを編集します。

各項目の説明については、「ネットワーク設定項目一覧」（→ P.7-13）を参照してください。

6 次のコマンドを実行して、config ファイルをアップロードします。

put config CONFIG

ネットワークボードのリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ　ネットワークボードをリセットするときは、次のコマンドを実行します。
· get reset

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

印刷を行うコンピュータの設定

プリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

■ **TCP/IP ネットワークに接続する**

印刷を行う全コンピュータに TCP/IP クライアントソフトウェアをインストールして、TCP/IP ネットワークが使用できるようにします。詳しくは、OS の説明書を参照してください。

■ **プリンタドライバのインストールとプリンタの接続先の設定**

印刷するためには、プリンタに対応したプリンタドライバをインストールしたあと、プリンタの接続先を設定する必要があります。プリンタの接続先の設定は、印刷に使用するプリントアプリケーションによって異なります。以下を参考にして使用するプリントアプリケーションを決めて、必要な作業を行ってください。

- LPD
  TCP/IP で一般的に使用されているプリントアプリケーションです。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。（→プリンタの接続方法（LPD/Raw）：P.2-24）
- Raw
  Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP/Server 2003 で利用できるプリントアプリケーションです。このプリントアプリケーションを利用すると、LPD より高速に印刷できます。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。（→プリンタの接続方法（LPD/Raw）：P.2-24）
- IPP
  Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP/Server 2003 などで利用できるプリントアプリケーションです。このプリントアプリケーションを利用すると、HTTP プロトコルを使用して、インターネット／イントラネット上のプリンタに印刷できます。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。（→プリンタの接続方法（IPP）：P.2-33）
- FTP
  FTP クライアントソフトウェアを使用して、プリンタにファイルをコピーすることで印刷するプリントアプリケーションです。（→プリンタの管理：P.2-39）

メモ

- WindowsでRawまたはIPPをお使いになる場合は、プリンタに付属のCD-ROMに入っている、Canon LPR2をインストールすることをおすすめします。Canon LPR2のインストールについては、ソフトウェアのCD-ROMに入っている「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF取扱説明書）を参照してください。
- ネットワーク上にWindows NT/2000/XP/Server 2003があるときは、これらをプリントサーバに設定することによって、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバを設定すると、プリントジョブはプリントサーバによって管理されます。また、あらかじめプリントサーバに代替ドライバをインストールしておくと、各コンピュータはドライバをネットワーク経由でインストールできるようになります。これらの設定は、LIPSソフトウェアガイド／本編（PDF取扱説明書）「第2章　Windowsから印刷するには」のプリントサーバ環境のときの手順を参照してください。
- ハードディスクが装着されているプリンタに印刷するときは、印刷の設定でジョブの処理方法として［保存＋印刷］を選択できます。このとき、プリンタアイコンからジョブを確認すると、プリンタに保存された時点でジョブがなくなりますが、印刷処理は正常に行われます。

プリンタの接続方法（LPD/Raw）

Windows 95/98/Me をお使いの場合

■新規にドライバをインストールするとき

1 ドライバをインストールします。

LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書）「第 2 章　Windows から印刷するには」のネットワーク上のプリンタを自動探索する手順に従って、ドライバをインストールします。

重要

ドライバをインストールする途中でプリンタとの通信に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。このときは、［いいえ］をクリックしたあと、バイトカウントモードをOFFに設定してください。

メモ

上記手順でドライバをインストールした場合、プリントアプリケーションはLPDとなります。Rawをお使いになる場合は、上記手順でドライバをインストール後に、「ドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき」（→ P.2-24）の手順に従って、ポートを変更してください。

■ドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき

1 Canon LPR2 を利用してポートを変更します。

プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールして、ポートの変更を行います。インストールおよびポート変更の手順については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

重要

Canon LPR2 で LPD を利用する場合は、［LPR キュー名］に「lp」を入力してください。

これでドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合

■新規にドライバをインストールするとき

1 **ドライバをインストールします。**

LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書）「第 2 章　Windows から印刷するには」のネットワーク上のプリンタを自動探索する手順に従って、ドライバをインストールします。

■ドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき

1 **Canon LPR2 を利用してポートを変更します。**
Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 に進みます。

プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールして、ポートの変更を行います。インストールおよびポート変更の手順については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

Canon LPR2 を利用する場合、これでドライバのインストールとポートの設定が完了します。

重要　Canon LPR2 で LPD を利用する場合は、［LPR キュー名］に「lp」を入力してください。

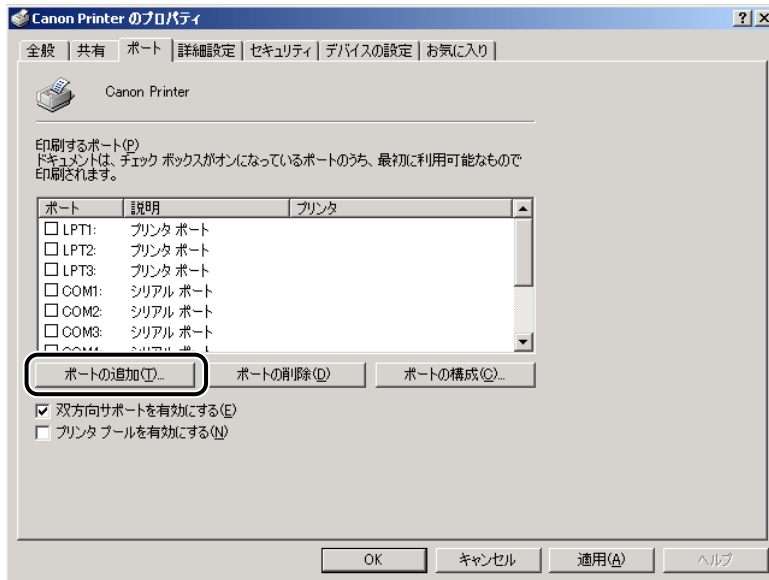
メモ　Canon LPR2 をインストールしなくても、OS に標準の機能で LPD と Raw を設定できます。Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 ～ 12 を参照してください。

2 **プリンタプロパティダイアログボックスを表示します。**

- ❑ Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- ❑ Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
- ❑ Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］を選択します。

3 **インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。**

4 ［ポート］タブをクリックして、［ポート］ページを表示します。

5 ［ポートの追加］をクリックして、［プリンタポート］ダイアログボックスを表示します。

6 ［利用可能なプリンタポートの種類］から［Standard TCP/IP Port］を選択したあと、［新しいポート］をクリックします。

標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動します。

7 ［次へ］をクリックします。

8 ［プリンタ名またはIPアドレス］にプリンタのIPアドレスまたは名前を入力したあと、［次へ］をクリックします。

9 入力した IP アドレスのプリンタがあることが確認されて [標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了] ウィンドウが表示されたら、[完了] をクリックします。

画面に「ポート情報がさらに必要です。」と表示されたときは、画面の指示に従って再検索を行うか、[デバイスの種類] で [標準] − [Canon Network Printing Device with P9100] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

10 [閉じる] をクリックして、[プリンタポート] ダイアログボックスを閉じます。

11 LPD を使用するときは、ポートの構成情報を変更します。

Raw を使用するときは、手順 12 に進みます。

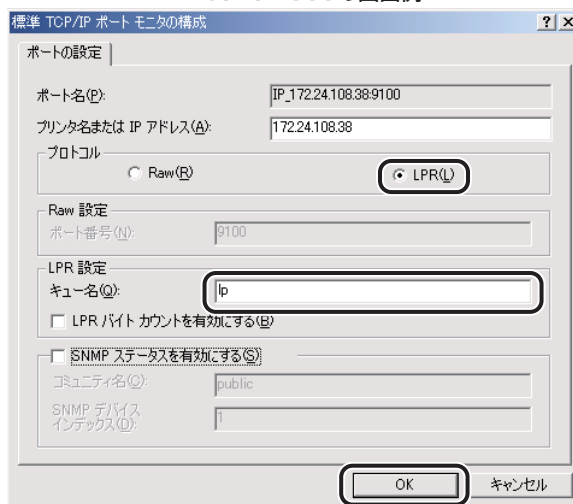
❑ プリンタプロパティダイアログボックスで、[ポートの構成] をクリックします。

❑ [プロトコル] で [LPR] を選択して、[LPR 設定] の [キュー名] に「lp」と入力したあと、[OK] をクリックします。

Windows 2000の画面例

12 [OK] をクリックします。

これでドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

Windows NT 4.0 をお使いの場合

■新規にドライバをインストールするとき

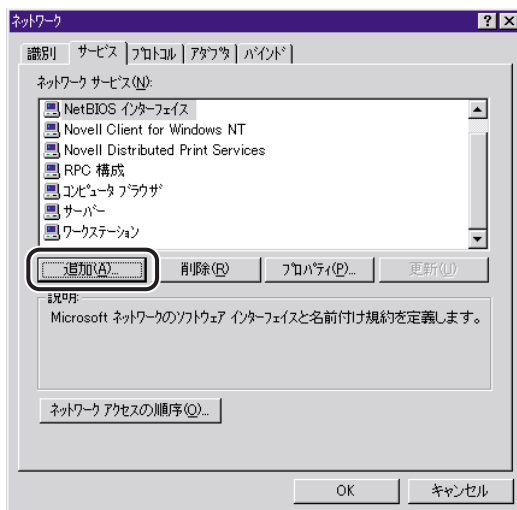
1 ［Microsoft TCP/IP 印刷］が組み込まれていることを確認します。

❏ 画面上の［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

❏ ［サービス］タブをクリックして、［サービス］ページを表示します。

［ネットワーク サービス］一覧に［Microsoft TCP/IP 印刷］がないときは手順 2 に、あるときは手順 3 に進みます。

2 ［Microsoft TCP/IP 印刷］が組み込まれていないときは、［Microsoft TCP/IP 印刷］を組み込みます。

❏ ［追加］をクリックします。

❏ ［ネットワーク サービス］一覧から［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択したあと、［OK］をクリックします。

❏ Windows NT のセットアップディスクを要求されたら、ディスクをセットして続行します。

❏ ファイルのコピーが終了して［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。

❏ ［システム再起動］をクリックして、Windows NT を再起動します。

3 ドライバをインストールします。

LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書）「第 2 章　Windows から印刷するには」のネットワーク上のプリンタを自動探索する手順に従って、ドライバをインストールします。

メモ　上記手順でドライバをインストールした場合、プリントアプリケーションは LPD となります。Raw をお使いになる場合は、上記手順でドライバをインストール後に、「ドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき」（→ P.2-29）の手順に従って、ポートを変更してください。

■ ドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき

1 Canon LPR2 を利用してポートを変更します。Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 に進みます。

プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールして、ポートの変更を行います。インストールおよびポート変更の手順については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

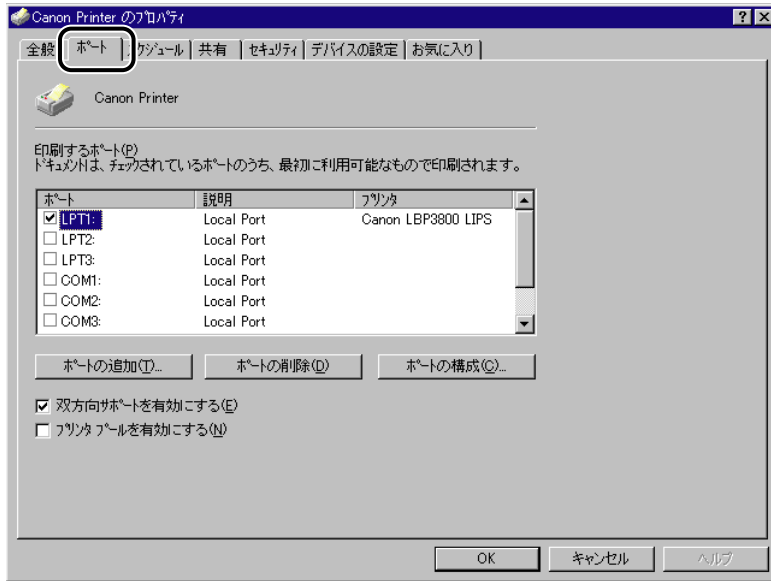
Canon LPR2 を利用する場合、これでドライバのインストールとポートの設定が完了します。

重要　Canon LPR2 で LPD を利用する場合は、［LPR キュー名］に「lp」を入力してください。

メモ　Canon LPR2 をインストールしなくても、［Microsoft TCP/IP 印刷］を使用して LPD を設定できます。その場合、Raw は設定できません。［Microsoft TCP/IP 印刷］のインストール手順については、「新規にドライバをインストールするとき」（→ P.2-28）の手順 1 ～ 2 を参照してください。Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 ～ 9 を参照してください。

2 ［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］を選択します。

3 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

4 ［ポート］タブをクリックして、［ポート］ページを表示します。

5 ［ポートの追加］をクリックして、［プリンタポート］ダイアログボックスを表示します。

6 ［利用可能なプリンタポート］から［LPR Port］を選択したあと、［新しいポート］をクリックします。

［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス］に、プリンタの名前または IP アドレスを入力します。

8 ［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名］に「lp」と入力したあと、［OK］をクリックします。

9 ［OK］をクリックします。

これでドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

UNIX をお使いの場合

メモ　ここでは、LPD を使用した印刷について説明しています。FTP を使用して印刷する手順については、「プリンタの管理」（→ P.2-39）を参照してください。

1 ワークステーションにスーパーユーザとしてログインします。

2 スプーリングシステムを設定します。

● Solaris 1.x をお使いの場合の設定例：

❑ /etc/printcap ファイルに次の内容を追加します。

<印刷キュー名>¦<コメント>:¥

:lp=<デバイスのスペシャルファイル>:¥

:sd=<スプールディレクトリ>:¥

:rm=<プリンタの IP アドレスまたは名前>:

入力例： print_queue_name¦comments:¥
:lp=/var/spool/print_queue_name/.null:¥
:sd=/var/spool/print_queue_name:¥
:rm=printer_host_name:

● Solaris 2.x をお使いの場合の設定例：

❑ admintool ユーティリティを起動します。

❑ ［Browse］→［Printers］を選択します。

❑ ［Edit］→［Add］→［Access to Printer］を順に選択します。

❑ ［Printer Name］、［Print Server］に、任意の印刷キュー名とプリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。

❑ ［OK］を選択します。

● Red Hat Linux または LASER5 Linux をお使いの場合の設定例：

❑ control-panel にある Printer Configuration ユーティリティを起動します。

❑ ［追加］→他の UNIX（lpd）のキュー →［OK］を順に選択します。

❑ ［プリンタ名］、［リモートホスト］、［リモートキュー］に、任意の印刷キュー名、プリンタの IP アドレスまたは名前、「lp」を入力します。

❑ フィルタを使用する場合は、フィルタを選択します。

お使いのプリンタにあったフィルタがないときは、一時的に任意のフィルタを選択して Printer Configuration ユーティリティを終了したあと、スプールディレクトリにある postscript.cfg ファイルをお使いのプリンタに合わせて変更します。詳しくは、ghostscript の説明書を参照してください。

● Turbolinux をお使いの場合の設定例：

❑ turboprintcfg コマンドを実行します。

❑ ［Add］→［Remote LPD Queue］→［OK］を順に選択します。

❑ 任意の印刷キュー名を入力したあと、［Continue］を選択します。

❑ LPD Settings の［Configure］を選択して、［Remote Host name］、［Remote Queue］に、プリンタの IP アドレスまたは名前、「lp」を入力します。

❑ 最初の画面に戻り、［Save & Exit］を選択します。

❑ フィルタを使用しない場合は、/etc/printcap ファイルを開き、追加したプリントキューのセクションにある「:if=」で始まる 1 行を削除します。

❑ フィルタを使用する場合は、スプールディレクトリにある postscript.cfg ファイルをお使いのプリンタに合わせて変更します。

詳しくは、ghostscript の説明書を参照してください。

● HP-UX をお使いの場合の設定例：

❑ SAM ユーティリティを起動します。

❑ ［Printers and Plotters］メニューから、［Printers/Plotters］を選択します。

❑ ［Actions］メニューから、［Add Remote Printer/Plotter］を選択します。

❑ [Printer Name]、[Remote System Name] に、任意の印刷キュー名と、プリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。

❑ [Remote Printer Name] に「lp」と入力します。

❑ [Remote Printer is on a BSD System] を選択します。

❑ [OK] を選択します。

● **IBM-AIX をお使いの場合の設定例：**

❑ SMIT ユーティリティを起動します。

❑ [印刷スプーリング] → [印刷キューの追加] → [remote] を順に選択します。

❑ [標準処理の追加] を選択します。

❑ [追加するキュー名]、[リモート・サーバのホスト名] に、任意の印刷キュー名、プリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。

❑ リモートサーバ上の [キュー名] に「lp」と入力します。

❑ リモートサーバ上の [印刷スプーラタイプ] に「BSD」と入力します。

メモ

- admintool ユーティリティ、SAM ユーティリティ、SMIT ユーティリティは、OS に付属のユーティリティです。詳しい使用方法は、各 OS の説明書を参照してください。
- 上記は設定手順の例です。お使いの環境によっては、設定手順が異なることがあります。

これで印刷するための設定が完了しました。

プリンタの接続方法（IPP）

Windows 95/98/Me/NT 4.0 をお使いの場合

メモ

- Windows 95/98/Me をお使いの場合、マイクロソフト社から提供される Windows 95/98/Me 用 IPP クライアントソフトウェアのインストールによっても、IPP を使用した印刷を設定できます。
- 手順中の画面や項目名は、Windows Me のものです。お使いの OS の種類によっては、項目名などが異なることがあります。

1 **[IP アドレス範囲設定] の [TCP/IP 印刷を制限する] が選択されている場合に、ドライバをインストールするコンピュータの IP アドレスが、印刷を許可されているかどうかを確認します。（→「特定の IP アドレスを持つデバイスによる印刷の要求の制限」：P.2-49）**

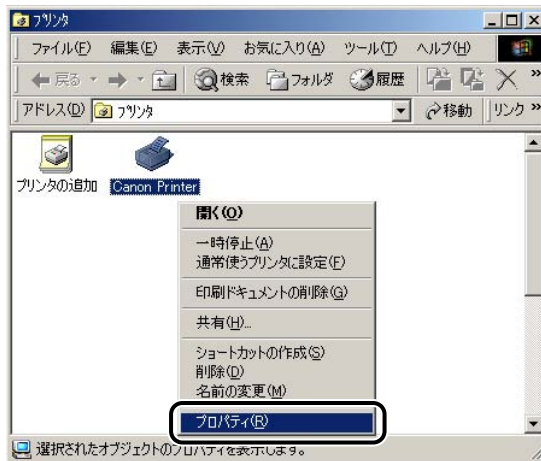
- ［IP アドレス範囲設定］の［TCP/IP 印刷を制限する］で印刷を制限されている IP アドレスの場合、ドライバをインストールすることができません。
- ドライバをインストールしたコンピュータの IP アドレスが、［IP アドレス範囲設定］の［TCP/IP 印刷を制限する］で印刷を制限されるようになった場合、そのコンピュータからは印刷できません。

2 プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールしたあと、コンピュータを再起動します。

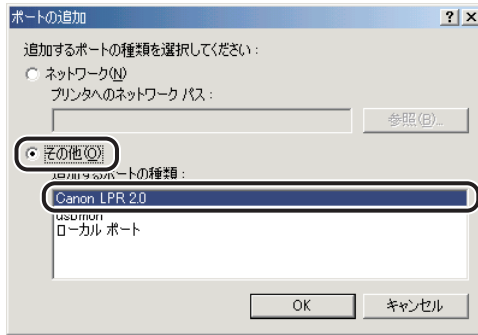
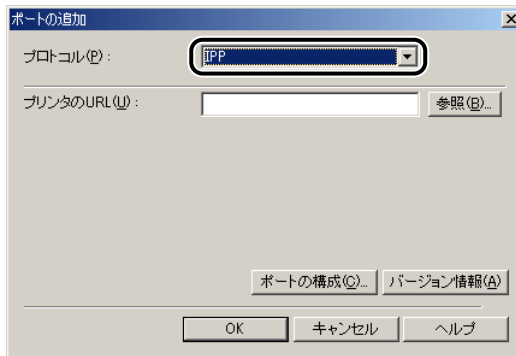
3 ドライバをインストールします。

LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書）「第 2 章　Windows から印刷するには」のローカル接続、ネットワーク環境のときにインストールする手順に従って、ドライバをインストールします。

4 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。

5 手順 3 でインストールしたプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

6 ［詳細］タブをクリックして、［詳細］ページを表示します。

7 ［ポートの追加］をクリックして、［ポートの追加］ダイアログボックスを表示します。

8 ［その他］をクリックして、［Canon LPR 2.0］を選択します。

9 ［プロトコル］から［IPP］を選択します。

10 ［プリンタの URL］に以下の URL を入力したあと、［OK］をクリックします。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /printer

11 IPP 認証機能を使用している場合（→ IPP 認証による IPP のアクセス制限：P.2-56）は、パスワード入力を求められたら、ユーザ名とパスワードを入力したあと、［OK］をクリックします。

12 ［OK］をクリックします。

これでドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合

Canon LPR2 のインストールによっても、IPP を使用した印刷を設定できます。詳細については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

1 **［IP アドレス範囲設定］の［TCP/IP 印刷を制限する］が選択されている場合に、ドライバをインストールするコンピュータの IP アドレスが、印刷を許可されているかどうかを確認します。（→「特定の IP アドレスを持つデバイスによる印刷の要求の制限」：P.2-49）**

重要

- ［IP アドレス範囲設定］の［TCP/IP 印刷を制限する］で印刷を制限されている IP アドレスの場合、ドライバをインストールすることができません。
- ドライバをインストールしたコンピュータの IP アドレスが、［IP アドレス範囲設定］の［TCP/IP 印刷を制限する］で印刷を制限されるようになった場合、そのコンピュータからは印刷できません。

2 **プリンタの追加ウィザードを起動します。**

● Windows 2000 の場合

❑ ［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］を選択します。

❑ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

● Windows XP Professional の場合

❑ ［スタート］メニューの［プリンタと FAX］を選択します。

❑ ［プリンタのタスク］で［プリンタのインストール］をクリックします。

● Windows XP Home Edition の場合

❑ ［スタート］メニューの［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］を順に選択します。

❑ ［プリンタのタスク］で［プリンタのインストール］をクリックします。

● Windows Server 2003 の場合

❑ ［スタート］メニューの［プリンタと FAX］を選択します。

❑ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3 プリンタの URL を指定します。

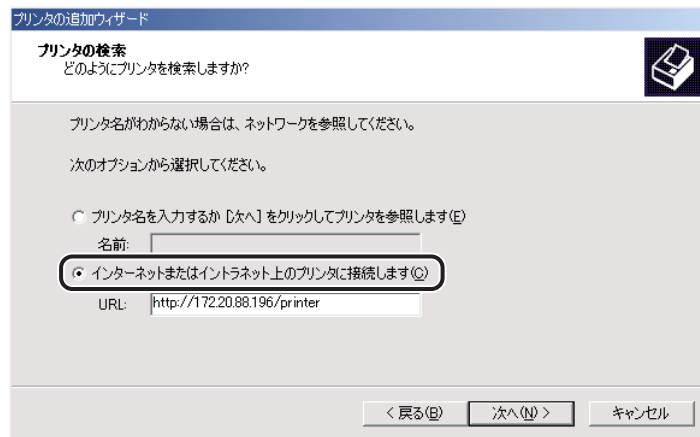
❏ ［次へ］をクリックします。

プリンタの接続方法を選択する画面が表示されます。

❏ Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択します。
Windows XP/Server 2003 の場合は、［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択します。

❏ ［次へ］をクリックします。

プリンタの検索画面が表示されます。

❏ Windows 2000 の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択します。
Windows XP/Server 2003 の場合は、［インターネット上または自宅／会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。

❏ ［URL］に以下の URL を入力します。

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /printer

❏ ［次へ］をクリックします。

プリンタの製造元とプリンタ名を選択する画面が表示されます。

❏ ［ディスク使用］をクリックして、CD-ROM ドライブの中のプリンタドライバが入っているフォルダを指定します。

4 IPP 認証機能を使用している場合（→ IPP 認証による IPP のアクセス制限：P.2-56）は、パスワード入力を求められたら、ユーザ名とパスワードを入力したあと、［OK］をクリックします。

5 画面の指示に従ってインストールを完了させます。

Canon LPR2 をお使いになる場合は、あらかじめ Canon LPR2 をインストールする必要があります。この場合は、[利用可能なプリンタポートの種類] から [Canon LPR 2.0] を選択します。詳細については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」(PDF 取扱説明書) を参照してください。

これでドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

プリンタの管理

本製品では、以下のソフトウェアを使用して、お使いのコンピュータ上からプリンタの状態を調べることやプリンタの設定を行うことができます。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント
- NetSpot Device Installer
  NetSpot Device Installer は、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。
- Web ブラウザ（NetSpot Console）
  NetSpot Console は、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。

リモート UI を使用して管理する

本製品に内蔵されているリモート UI というソフトウェアを使用して、Web ブラウザ上でプリンタを管理することができます。

リモート UI の起動方法は、「リモート UI による設定」（→ P.2-11）の手順 1 を参照してください。また、リモート UI の使用方法については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

メモ　「リモート UI ガイド」は、Adobe Acrobat Reader を使って画面上に表示、印刷することができる PDF 取扱説明書で、プリンタに付属の CD-ROM に収められています。

FTP クライアントを使用してプリンタを管理する

以下の手順で、FTP クライアントを使用して、プリンタを管理することができます。また、FTP クライアントを使うと、プリンタからファイルを印刷することや、プリンタのネットワークモジュールのファームウェアのバージョンアップなども行うことができます。

1 MS-DOS プロンプト、またはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示します。

2 次のコマンドを実行します。

ftp　＜プリンタの IP アドレス＞

3 ユーザ名として「root」を入力します。

プリンタにパスワードを設定しているときは、さらにパスワードを入力します。パスワードを設定していないときは、パスワードは入力せずにキーボードの［ENTER］キーのみを押します。

以下の操作を行うことができます。

・ファイルの印刷：	put ＜印刷するファイル名＞ PRINTER
・プリンタのネットワークモジュールのリセット：	get reset
・現在の設定値の取得：	get config
・初期設定値の取得：	get defaults
・プリンタをファイルの値に設定：	put ＜設定ファイル＞ CONFIG
・ファームウェアのバージョンアップ：	put＜ファームウェアのイメージファイル＞FLASH

重要　ファイルを印刷するときは、バイナリモードで印刷してください。

メモ
- ユーザ名は、「root」以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。
- Anonymous ログインはできません。
- ファームウェアのバージョンアップについては、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

NetSpot Device Installer を使用して管理する

NetSpot Device Installer を使うと、ネットワーク上にあるさまざまなプリンタの基本的プロトコルの設定や状態表示を行えます。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書））

NetSpot Console を使用して管理する

NetSpot Console を使うと、ネットワーク上にあるさまざまなプリンタの詳細設定、状態表示、状態通知を Web ブラウザ上で行えます。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書））

プリンタ状況の電子メールによる通知

紙づまりが起きたときやトナーがなくなったときなどに、電子メールで通知させることができます。

- ジョブ終了時
  - ･印刷が終了したとき（印刷ジョブごとに通知されます）
- デバイスエラー発生時
  - ･紙づまり、用紙切れ、用紙交換要求などのプリンタエラーや、電源を入れなおす必要があるプリンタエラーが発生したとき
  - ･消耗品交換要求時
  - ･トナーなどの消耗品がなくなったときや、交換が必要なとき

例えば、プリンタの上カバーが開いているときに、以下のような電子メールを受信できます。

```
From: “TestPrinter” <000085044567>
To: xxx001@example.com
Subject: [DEVICE ERROR] 12 (44013)
Reply-to: xxx002@example.com
MIME-Version: 1.xx
Cotent-Type: text/plain; charset=ISO-2022-JP

エラーが発生しています。
    プリンタの右カバーが開いています。
    プリンタの右カバーをきちんと閉じオンラインキーを押してください。
--------
製品名：LBPxxxx
Page Count：000560
設置場所：○×ビル3階　営業部
連絡先：システム情報部　システム監視課
        佐々木健介　　FAX 123xxxxxxx
```

重要

- 一部のエラーは、電子メールで通知されません。
- 電子メールは、15 個まで保存されます。電子メールの送信に失敗したなどの理由で送信する電子メールが 16 個以上になった場合は、古い電子メールから順に削除されるため、送信されません。
- プリンタ状況を電子メールで通知させるには、Web ブラウザ（リモート UI）を使って、次項の設定を行ってください。
- 以下のプリンタをお使いのときは、ジョブ終了時に電子メールで通知させることはできません。デバイスエラー発生時のみ、通知させることができます。
  ・LBP-2260/2200/2040/910/880/870/840

メモ

- 設定により、一部の状況のみ通知させるようにすることもできます。
- 電子メールのヘッダの From には、送信元のアドレス情報として、デバイス名とMACアドレスが表示されています（例："TestPrinter"<000085044567>）。このメールの送信元（上記例の "TestPrinter"<000085044567>）は、リモート UI の［デバイス管理］－［情報］－［デバイス情報の変更］ページで設定するデバイス名と MAC アドレスから生成したメールアドレス（変更不可）になります。プリンタからのメールを識別するためには、固有のデバイス名を指定してください。ただし、このアドレスに直接返信することはできません。

電子メール通知機能の設定

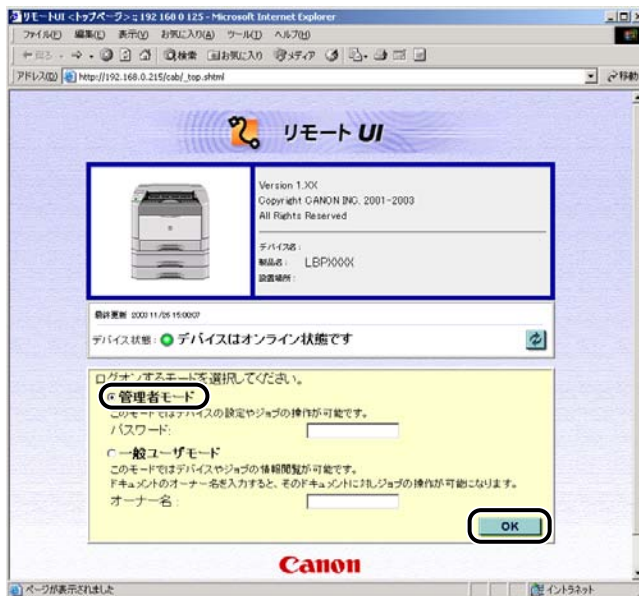
1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

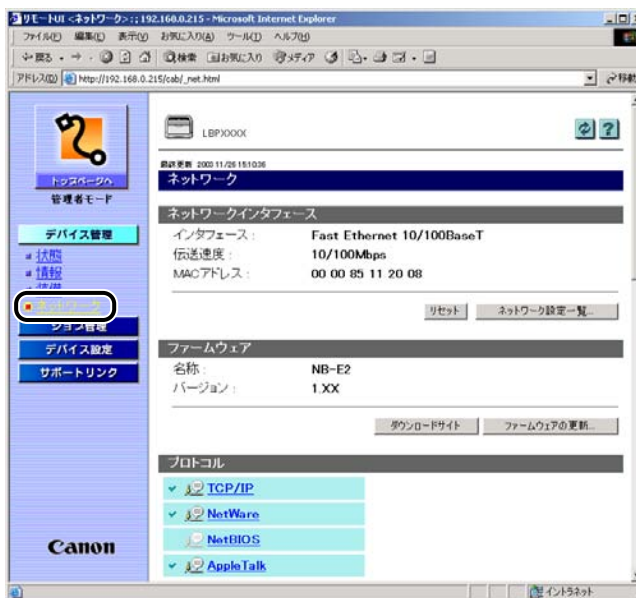
http://＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞/

入力例： http://192.168.0.215/

重要

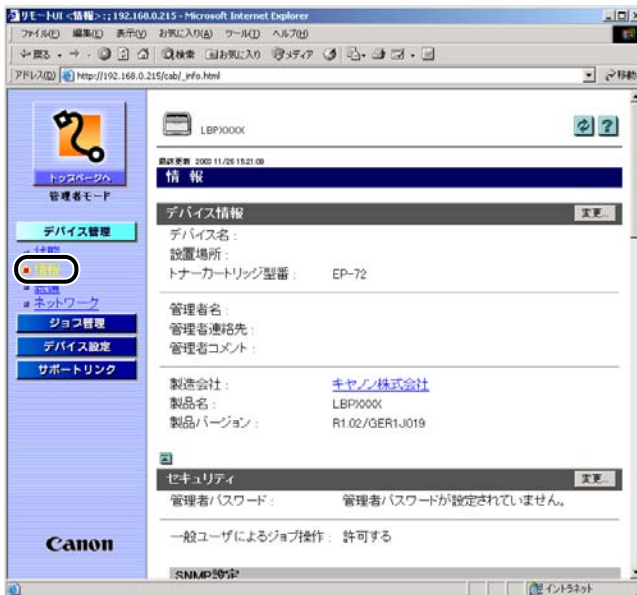
- Web ブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- Turbolinux 4.0をお使いの場合、Netscape Communicator 4.08で本製品の設定を行うことはできません。他のバージョンの Web ブラウザをお使いください。

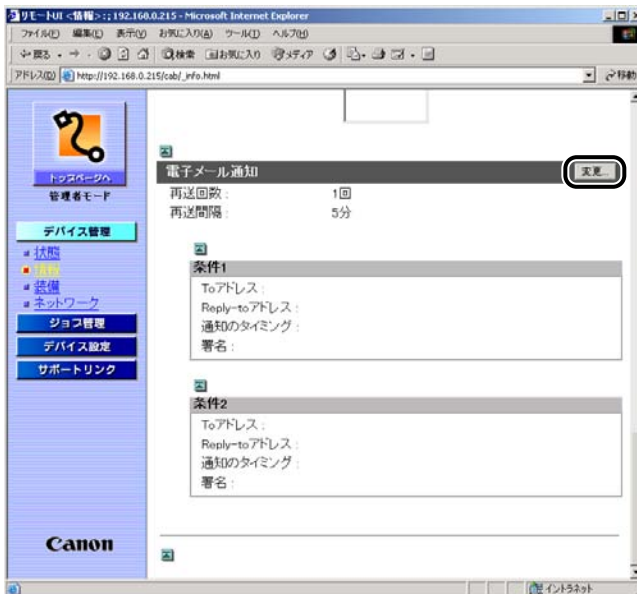
2 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

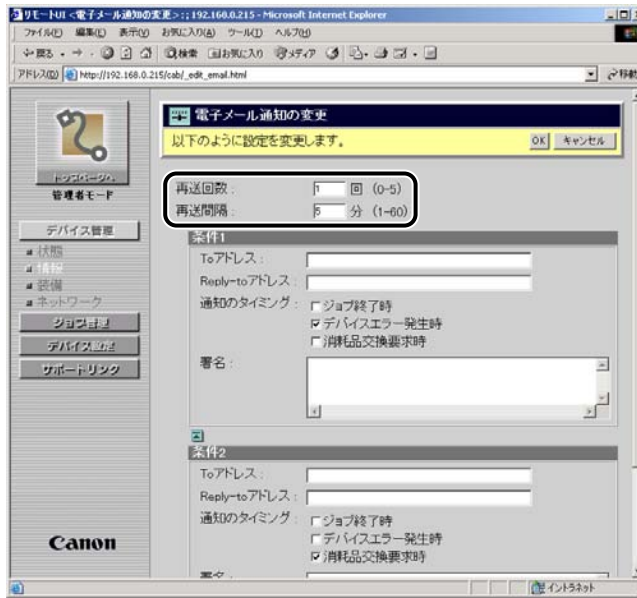
3 左側の［デバイス管理］のメニューから［ネットワーク］をクリックします。

［ネットワーク］ページが表示されます。

4 ［TCP/IP］の［SMTP サーバアドレス］にメールサーバのアドレスが正しく設定されていることと、［DNS ドメイン名］に本プリンタの所属するドメイン名が正しく設定されていることを確認します。

メールサーバのアドレスと本プリンタのドメイン名が正しく設定されていない場合は、メールサーバのアドレスと本プリンタのドメイン名を設定します。（→リモート UI による設定：P.2-11）

5 左側の［デバイス管理］のメニューから［情報］をクリックします。

［情報］ページが表示されます。

6 ［電子メール通知］の右にある［変更］をクリックします。

［電子メール通知の変更］ページが表示されます。

7 **［再送回数］、［再送間隔］に、プリンタ状況を通知するメールの送信に失敗したときに再送する回数と、再送するまでの時間を設定します。**

8 **［条件 1］の各項目を設定します。**

設定する項目

［To アドレス］：　プリンタ状況を通知するメールを受信する人のメールアドレスを設定します。「,」で区切ることで、複数のメールアドレスを指定できます。

［Reply-to アドレス］：返信アドレスを設定します。

［通知のタイミング］：　メールによる通知を行う条件を設定します。

［署名］：　メールの本文の最後に表示される文章を設定します。

9 **［条件 1］と異なる宛先や、異なる条件でプリンタ状況を通知するメールを送信したいときは、［条件 2］も設定します。**

10 **［OK］をクリックします。**

プリントサーバのリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

プリントサーバをリセットするときは、左側の［デバイス管理］のメニューから［ネットワーク］を選択したあと、［リセット］をクリックします。

これで電子メール通知機能の設定は完了しました。

特定の IP アドレスを持つデバイスによる印刷の要求の制限

本製品では、以下のソフトウェアを使用して、特定の IP アドレスを持つデバイスによる印刷の要求を制限できます。

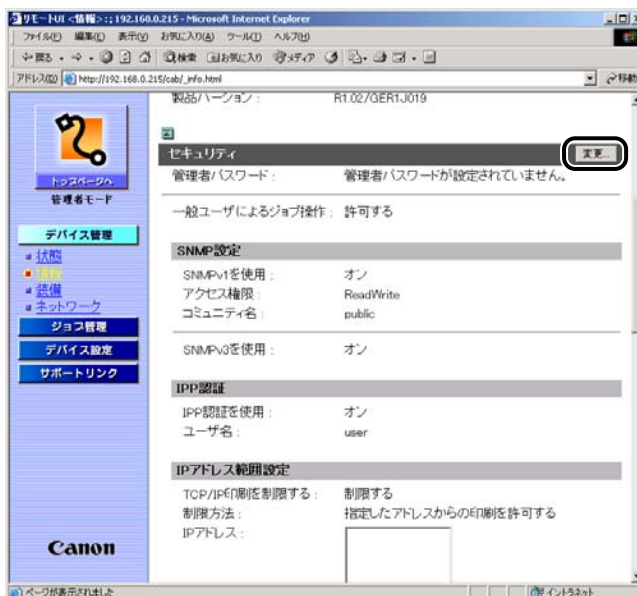
- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

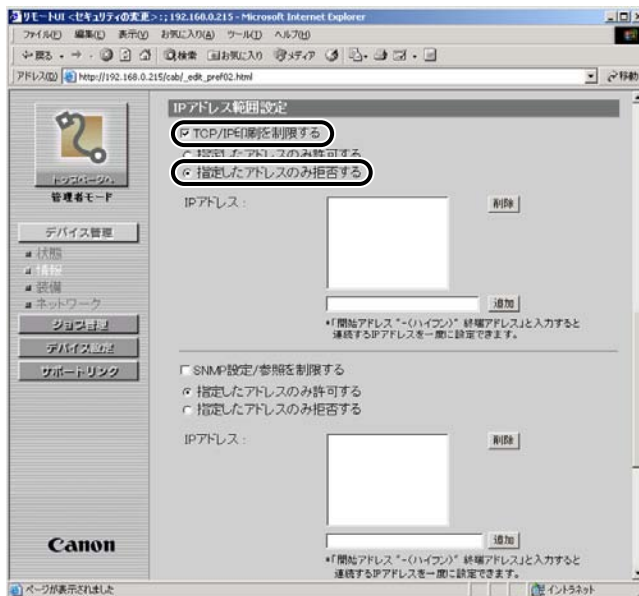
重要　本機能によって制限されるのは印刷要求のみであり、リモート UI からのアクセスなどは制限されません。

リモート UI による制限

ここでは、リモート UI を使用して制限する方法について説明しています。

1 Web ブラウザを起動して、管理者モードでログオンします。

2 ［情報］ページで、［セキュリティ］の［変更］をクリックします。

［セキュリティの変更］ページが表示されます。

3 指定した IP アドレスを持つデバイスによる印刷要求を拒否する場合には、［TCP/IP 印刷を制限する］にチェックマークを付けて、［指定したアドレスのみ拒否する］を選択します。

特定の IP アドレスを持つデバイスによる SNMP 設定／参照の要求の制限

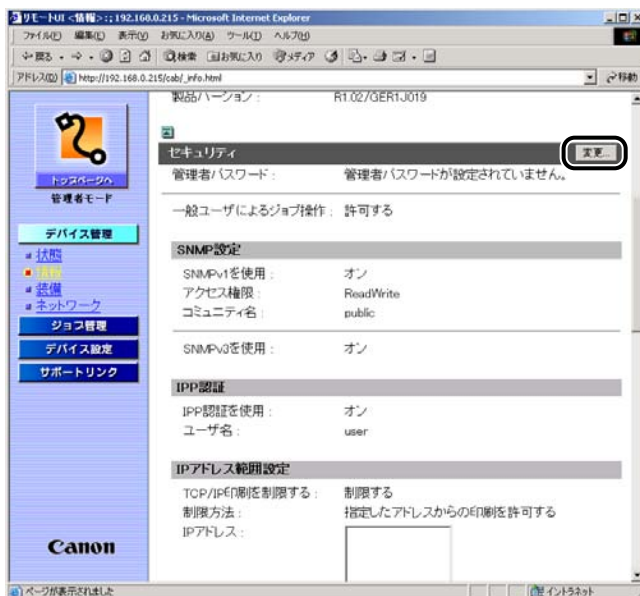
本製品では、以下のソフトウェアを使用して、特定の IP アドレスを持つデバイスによる SNMP プロトコルからの設定／参照の要求を制限できます。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

リモート UI による制限

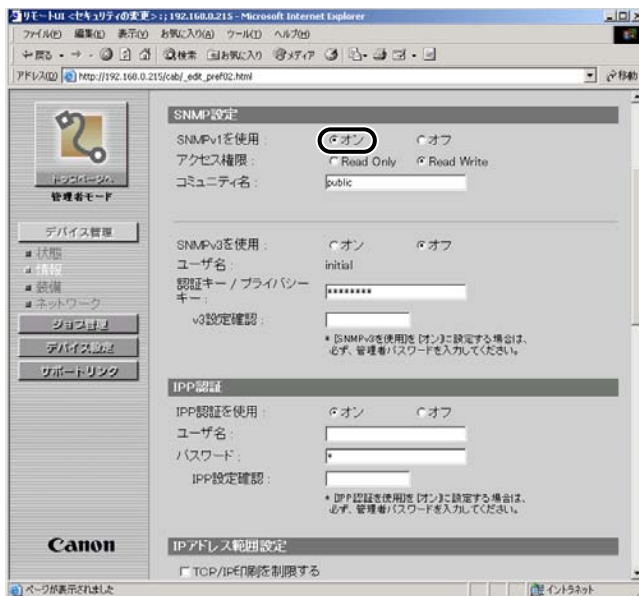
ここでは、リモート UI を使用して制限する方法について説明しています。

1 Web ブラウザを起動して、管理者モードでログオンします。

2 ［情報］ページで、［セキュリティ］の［変更］をクリックします。

［セキュリティの変更］ページが表示されます。

3 SNMP を設定します。

● SNMPv1 を使用する場合

❑ ［SNMPv1 を使用］を［オン］に設定します。

❑ ［アクセス権限］で SNMPv1 エージェントをどちらのモードで動作させるかを選択します。

❑ ［コミュニティ名］に、SNMP のコミュニティ名を設定します。

重要 ［Read Only］を選択すると書き込みができなくなり、キヤノン製のユーティリティソフトウェアの一部が使用できなくなったり、エラーが発生して正常に使えないことがあります。

メモ SNMP のコミュニティ名は、以下の機種をお使いの場合に変更することができます。
・LBP-2810/1910/1820
・プリントサーバ NB-5F バージョン 1.10 以降を搭載したプリンタ
内蔵プリントサーバのバージョンアップ方法については、「はじめに」（→ P.v）を参照してください。

● SNMPv1 を使用しない場合

❑ ［SNMPv1 を使用］を［オフ］に設定します。

重要 ［SNMPv1 を使用］を［オフ］に設定すると、キヤノン製のユーティリティソフトウェアが使用できなくなることがあります。［オフ］を選択する場合には、管理者に相談してから設定してください。

● SNMPv3 を使用する場合

❏ ［SNMPv3 を使用］を［オン］にします。

❏ ［認証キー / プライバシーキー］に、SNMPv3 で使用する認証キーとプライバシーキーを設定します。

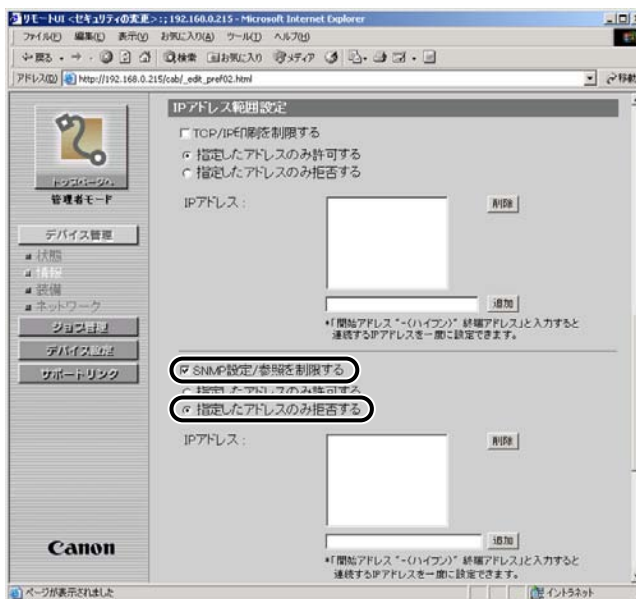
❏ ［v3 設定確認］に、リモート UI の管理者パスワードを入力します。

重要　SNMPv3 の設定をリモート UI 以外のソフトウェアで行った場合、SNMPv3 の設定項目はリモート UI には表示されなくなります。

メモ　SNMPv3 で使用するユーザ名は、「Initial」に設定されます。

● SNMPv3 を使用しない場合

❏ ［SNMPv3 を使用］を［オフ］に設定します。

4 特定のIPアドレスを持つデバイスによるSNMPプロトコルからの設定／参照要求を拒否する場合には、［SNMP 設定 / 参照を制限する］にチェックマークを付けて、［指定したアドレスのみ拒否する］を選択します。

特定の MAC アドレスを持つデバイスによるアクセス制限

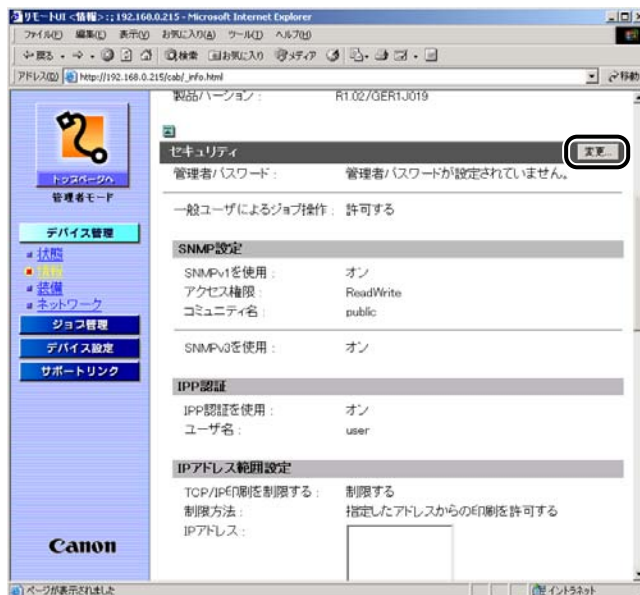
本製品では、以下のソフトウェアを使用して、特定の MAC アドレスを持つデバイスによるアクセス要求を制限できます。

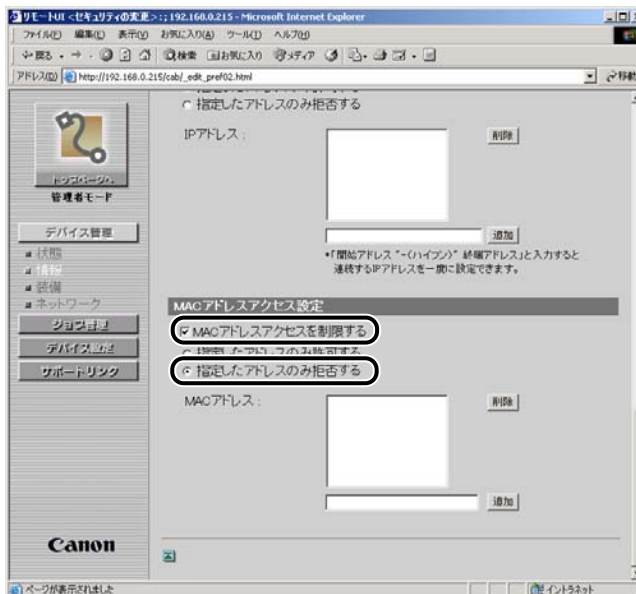
- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

リモート UI による制限

ここでは、リモート UI を使用して制限する方法について説明しています。

1 Web ブラウザを起動して、管理者モードでログオンします。

2 ［情報］ページで、［セキュリティ］の［変更］をクリックします。

［セキュリティの変更］ページが表示されます。

3 指定した MAC アドレスを持つデバイスからのアクセスを拒否する場合には、[MAC アドレスアクセスを制限する] にチェックマークを付けて、[指定したアドレスのみ拒否する］を選択します。

重要　［指定したアドレスのみ許可する］を選択すると、許可されていない MAC アドレスからのアクセスができなくなります。そのため入力の際には MAC アドレスをよく確認してください。該当する MAC アドレスが存在しない場合は、ネットワークにアクセスできなくなります。なお、その際は、ネットワーク設定を操作パネルで初期化する必要があります（→ネットワーク設定の初期化：P.7-21）

IPP 認証による IPP のアクセス制限

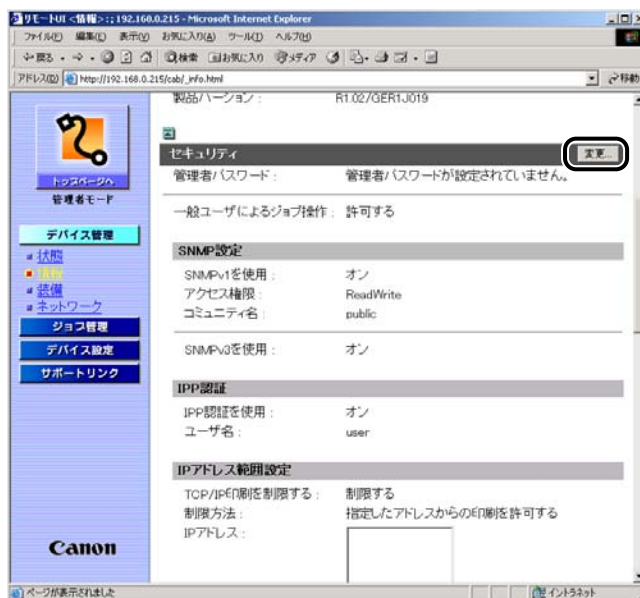
本製品では、以下のソフトウェアを使用して、IPP 認証を設定できます。IPP 認証機能を使用すると、IPP でのアクセスが許可されるのは、ユーザ名とパスワードの認証を行ったクライアント PC のみになります。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

リモート UI による制限

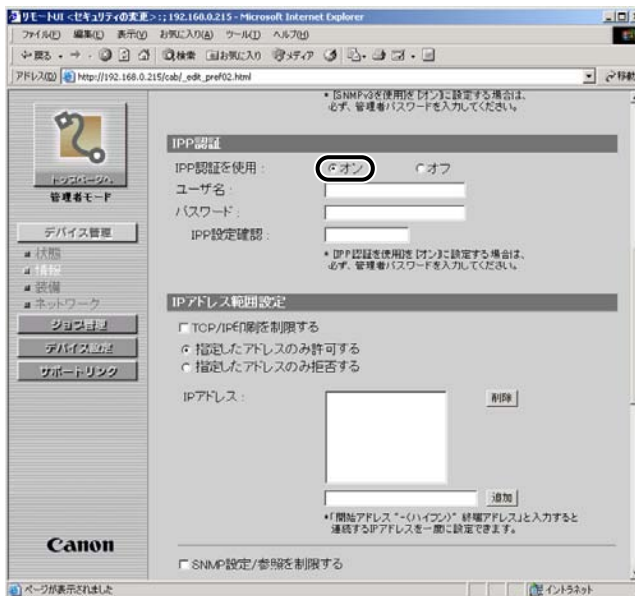
ここでは、リモート UI を使用して制限する方法について説明しています。

1 Web ブラウザを起動して、管理者モードでログオンします。

2 ［情報］ページで、［セキュリティ］の［変更］をクリックします。

［セキュリティの変更］ページが表示されます。

3 IPP 認証を設定します。

● IPP 認証機能を使用する場合

❏ ［IPP 認証を使用］を［オン］に設定します。

❏ ［ユーザ名］に、IPP 認証で使用するユーザ名を入力します。

❏ ［パスワード］に、IPP 認証で使用するパスワードを入力します。

❏ ［IPP 設定確認］に、リモート UI の管理者パスワードを入力します。

● IPP 認証機能を使用しない場合

❏ ［IPP 認証を使用］を［オフ］に設定します。

NetWare ネットワークで使用するには（Windows）

3
CHAPTER

プリンタを NetWare ネットワークに接続して使用するための設定方法について説明しています。

NetWare ネットワークで使用するために必要な作業

NetWare で使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1 ネットワークボードの取り付けとケーブル（→ネットワークガイド／スタート編）

ネットワークボードをプリンタに取り付けたあと、ネットワークケーブルを接続します。ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けは必要ありません。ネットワークケーブルの接続のみを行ってください。

2 NetWare の設定（→ P.3-3）

NetWare の設定を行います。以下のソフトウェアを使用してコンピュータ上から設定できます。

- NetSpot Device Installer
  NetSpot Device Installer は、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。

3 印刷を行うコンピュータの設定（→ P.3-8）

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

重要　手順 1、2 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

NetWare の設定

NetWare ネットワークを使用して印刷するためには、プリントサーバやキューなどのプリントサービスとプリンタプロトコルを設定する必要があります。ここでは、NetSpot Device Installer を使用して設定する方法を説明しています。

重要

- NetSpot Device Installer が対応している OS がネットワーク上にない場合は、NWADMIN または PCONSOLE を使用して設定を行ってください。(→ NWADMIN、PCONSOLE による NetWare プリントサーバの設定：P.7-2)
- NetSpot Device Installer を実行するコンピュータに、クライアントソフトウェアとして Novell Client (Novell 社製の NetWare クライアント) がインストールされている必要があります。

プリントサービスの種類

プリントサービスを設定する前に、以下の説明を参考にして使用するプリントサービスの種類を選択してください。

メモ

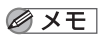
- 通常は、NetWare 4.xJ 以降をお使いの場合は NDS のプリントサービスを、NetWare 3.xJ をお使いの場合はバインダリモードのプリントサービスを使用してください。本書では、それ以外の設定方法について説明していません。
- NetWare 5.xJ では、プリントサービスとして NDPS を使用することもできます。NDPS を使用するときは、ゲートウェイとして NetWare に付属の Novell プリンタゲートウェイを使用してください。本書では NDPS の設定方法は説明していませんので、NetWare の説明書を参照してください。なお、NetSpot Console では NDPS を設定することはできません。NWADMIN を使用して設定を行ってください。

■ NDS（ノベルディレクトリサービス）とバインダリモード

本製品は、NDS とバインダリモードのどちらにも対応しています。お使いのネットワーク環境に応じて、どちらのモードを使用するか選択してください。NetWare 3.xJ をお使いの場合は、バインダリモードのみ使用できます。

■ キューサーバモードとリモートプリンタモード

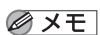
本製品は、キューサーバモードとリモートプリンタモードのどちらにも対応しています。

- キューサーバモード
キューサーバモードで使用する場合、プリントサーバの機能はすべて本製品が備えているため、他にプリントサーバ用のハードウェアやソフトウェアを必要としません。NDSのキューサーバモード（NDS PServer）では、NDS のプリントサーバを使用して印刷します。バインダリのキューサーバモード（Bindery PServer）では、バインダリのプリントサーバを使用して印刷します。
また、キューサーバモードでは、本製品 1 台につき 1 つの NetWare ユーザライセンスが必要です。
- リモートプリンタモード
リモートプリンタモードで使用する場合、NetWare プリントサーバによって本製品は制御されます。そのため、本製品の他に NetWare プリントサーバが必要になります。NDS のリモートプリンタモード（NPrinter）では、NDS のプリントサーバを使用して印刷します。バインダリのリモートプリンタモード（RPrinter）では、バインダリのプリントサーバを使用して印刷します。

NetSpot Device Installer による設定

1 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニュー画面が自動的に表示されます。

メモ　CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM メニューの [NetSpot Device Installer] をクリックします。

3 ［CD-ROM から起動（IPX 版）］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認したあと、［同意します］をクリックします。

NetSpot Device Installer が起動します。

5 デバイスリストにデバイスが表示されることを確認します。

メモ　デバイスリストに目的のデバイスが表示されない場合は、NetWare のフレームタイプが正しく設定されていない可能性があります。フレームタイプの設定を確認してください。フレームタイプの設定が必要なときには、CD-ROM メニューの［CD-ROM から起動（TCP/IP 版）］をクリックして、NetSpot Device Installer for TCP/IP を起動したあと、フレームタイプを設定してください。（→「NetSpot Device Installer による設定」（P.2-5）の手順 8）

6 デバイスリストからデバイスを選択したあと、［デバイス］メニューから［NetWare プリントサービス設定］を選択して、［NetWare プリントサービス設定］を表示します。

デバイスリストに表示されているデバイスを右クリックして、［NetWare プリントサービス設定］を選択しても、［NetWare プリントサービス設定］を表示できます。

7 設定したいプリントサービスのリストで空白行を選択したあと、右側にある［詳細］をクリックします。

プリントサービスの詳細を設定するダイアログボックスが表示されます。

メモ　表示されるダイアログボックスは、プリントサービスによって異なります。

8 新しくプリントサーバ、プリンタ、プリントキューを生成する場合は、［オブジェクトの生成］をクリックして、［オブジェクトの生成］ダイアログボックスを表示します。それ以外の場合は、手順 10 に進みます。

表示されるダイアログボックスの内容は、プリントサービスによって異なります。

9 ［オブジェクトの生成］ダイアログボックスで、NetWare サーバ上にオブジェクトを生成します。

● Bindery PServer または RPrinter の場合

❏ ［ファイルサーバ］で、生成するオブジェクトが属するファイルサーバ名を選択します。

❏ ［プリントサーバ］に、生成するプリントサーバオブジェクトの名前を入力します。

❏ ［プリンタ］に、生成するプリンタオブジェクトの名前を入力します。

❏ ［プリントキュー］に、生成するプリントキューオブジェクトの名前を入力します。

❏ ［ボリューム］に、キューを生成するボリュームオブジェクトを入力します。

❏ ［OK］をクリックします。

オブジェクトが生成されます。

● NDS PServer または NPrinter の場合

❏ ［ツリー］に、プリントサーバが属するツリー名を入力します。

［参照］をクリックしてコンテキストをリストから選択したときは、ツリーは自動的に設定されます。

❑ ［コンテキスト］に、プリントサーバへのコンテキストを入力します。

［参照］をクリックして、コンテキストをリストから選択することもできます。

❑ ［プリントサーバ］に、生成するプリントサーバオブジェクトの名前を入力します。

❑ ［プリンタ］に、生成するプリンタオブジェクトの名前を入力します。

❑ ［プリントキュー］に、生成するプリントキューオブジェクトの名前を入力します。

❑ ［ボリューム］に、キューを生成するボリュームオブジェクトを入力します。

［参照］をクリックして、ボリュームをリストから選択することもできます。

❑ ［OK］をクリックします。

オブジェクトが生成されます。

10 デバイスのプリントサービスの詳細を設定します。

設定項目はプリントサービスによって異なります。各プリントサービスの設定項目は、「ネットワーク設定項目一覧」（→ P.7-13）を参照してください。

● Bindery PServer または RPrinter の場合

❑ ［プリントサーバ］に、プリントサーバ名を入力します。

手順 9 でオブジェクトを生成した場合は、そこで生成されたオブジェクトのファイルサーバ名とプリントサーバ名が表示されます。

［参照］をクリックして、プリントサーバをリストから選択することもできます。プリントサーバをリストから選択したときは、ファイルサーバ名が自動的に表示されます。

❑ RPrinter の場合は、［プリンタ番号］に、プリントサーバに接続されているプリンタの番号を入力します。

❑ Bindery PServerの場合でプリントサーバにパスワードが設定されているときは、［パスワード］にパスワードを入力します。

● NDS PServer または NPrinter の場合

❑ ［プリントサーバ］に、プリントサーバ名を入力します。

手順 9 でオブジェクトを生成した場合は、そこで生成されたオブジェクトのツリー名、コンテキスト名、プリントサーバ名が表示されます。

［参照］をクリックして、プリントサーバをリストから選択することもできます。プリントサーバをリストから選択したときは、ツリー名とコンテキスト名が自動的に表示されます。

❑ NDS NPrinterの場合は、［プリンタ番号］に、プリントサーバに接続されているプリンタの番号を入力します。

❑ NDS PServer の場合でプリントサーバにパスワードが設定されているときは、［パスワード］にパスワードを入力します。

11 ［OK］をクリックします。

12 Bindery PServerまたはNDS PServerの場合は、必要に応じて、［ポーリング間隔］を設定します。

13 ［NetWare プリントサービス設定］ダイアログボックスで設定した内容を確認したあと、［OK］をクリックします。

メモ　NetSpot Device Installer for NetWare の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

これで NetWareの設定は完了しました。

印刷を行うコンピュータの設定

NetWare の設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

NetWare ネットワークの接続

印刷を行うすべてのコンピュータにNetWareクライアントソフトウェアをインストールして、NetWare サーバまたはツリーにログインします。接続方法は、NetWare の説明書やOS の説明書を参照してください。

プリンタの接続方法

LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書）「第 2 章　Windows から印刷するには」のローカル接続、ネットワーク環境のときにインストールする手順に従って、ドライバをインストールしてください。

インストールのときは、プリンタの接続先として［ネットワークプリンタ］を選択して、「NetWare の設定」（→ P.3-3）で生成したプリントキューを選択してください。

インストール中にポートを選択する画面が表示されたら、［ネットワーク］を選択したあと、［設定］をクリックしてください。リストから、「NetWare の設定」（→ P.3-3）で生成したプリントキューを選択してください。

NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）

NetBIOS ネットワークに接続してプリンタを使用するための方法について説明しています。

NetBIOS ネットワークで使用するために必要な作業

NetBIOS ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1 ネットワークボードの取り付けとケーブル（→ネットワークガイド／スタート編）

「ネットワークガイド／スタート編」に従って、ネットワークボードをプリンタに取り付けたあと、ネットワークケーブルを接続します。ただし、ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けは必要ありません。ネットワークケーブルの接続のみを行ってください。

2 印刷を行うコンピュータの設定（→ P.4-3）

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

重要　本製品は、NetBIOS over TCP/IP（NetBT）には対応していません。お使いの環境で TCP/IP を使用している場合は、TCP/IP プロトコルを使用して印刷してください。（→第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX））

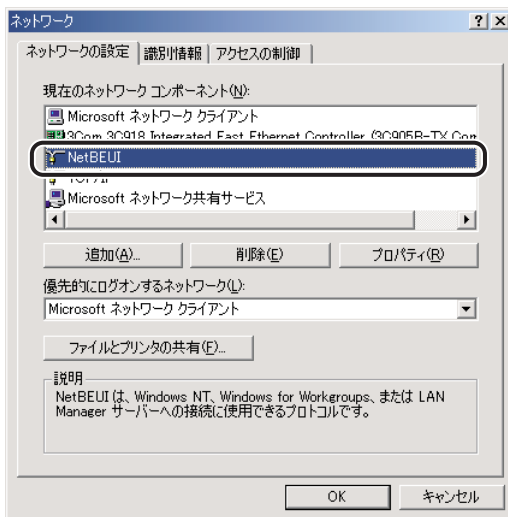
印刷を行うコンピュータの設定

以下の手順で、各コンピュータを設定します。

NetBIOS ネットワークの接続

印刷を行う各コンピュータに、NetBEUI クライアントソフトウェアをインストールする必要があります。NetBEUI クライアントソフトウェアがインストールされているかどうかは、次の手順で確認できます。

1 画面上の［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

2 ［現在のネットワークコンポーネント］一覧に、［NetBEUI］があることを確認します。

［NetBEUI］がインストールされていないときは、［追加］をクリックしてインストールします。

プリンタに対応したプリンタドライバをインストールする

印刷には、プリンタドライバが必要になります。プリンタドライバをインストールしてください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書））

インストール中にプリンタの接続先を選択する画面が表示される場合は、［ローカルプリンタ］を選択します。ネットワークプリンタを選択しないでください。

また、プリンタで使用するポートはインストール後に変更します。ここでは、［LPT1］など任意のポートを選択してください。

プリンタの接続先の設定

以下の手順で、プリンタの接続先の設定を行ってください。

1 **プリンタに付属の CD-ROM に入っている、NetBIOS/NetBEUI Port Monitor ユーティリティをインストールします。**

- ❑ プリンタに付属の CD-ROM をドライブにセットします。
- ❑ 画面上の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
- ❑ CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから［開く］を選択します。
- ❑ ［Portmon］フォルダをダブルクリックします。
- ❑ ［Setup］アイコンをダブルクリックします。

  お使いの環境によっては、［Setup.exe］と表示されます。

  インストールプログラムが起動します。
- ❑ 画面の指示に従ってインストールを行います。

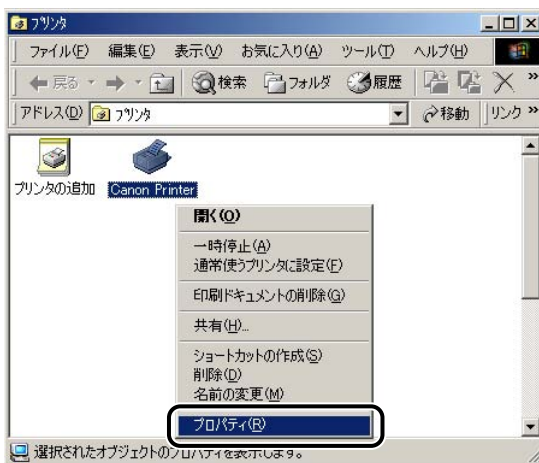
メモ　お使いの環境によっては、CD-ROM をドライブにセットしたときに CD-ROM メニューが表示されます。このときは、［終了］をクリックしたあと、上記手順を行ってください。

2 プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示します。

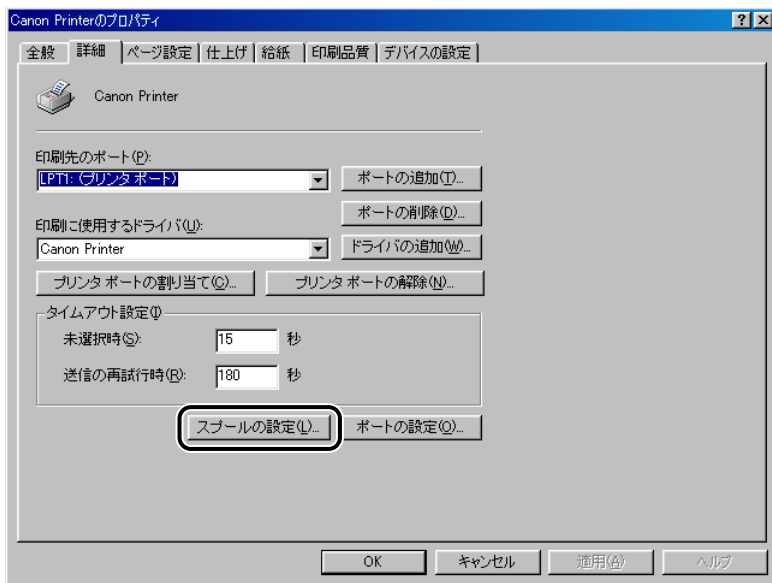
❑ ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。

❑ 印刷に使用するプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

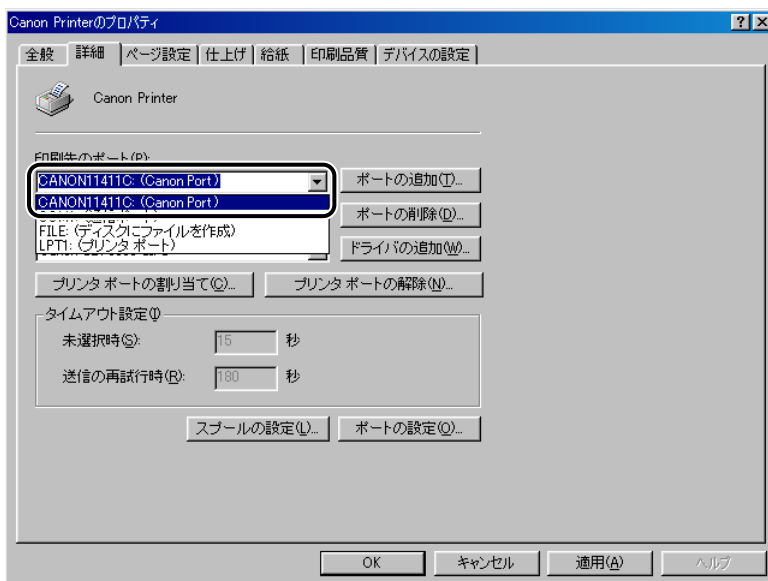
4

NetBIOSネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）

3 スプールの設定を行います。

❑ ［詳細］タブをクリックして、［詳細］ページを表示します。

❑ ［スプールの設定］をクリックして、［プリンタ スプールの設定］ダイアログボックスを表示します。

❑ ［印刷ジョブをスプールしてプログラムの印刷処理を高速に行う］を選択します。

❑ ［OK］をクリックします。

❑ ［印刷先のポート］で［CANONxxxxxx（Canon Port)］を選択します。

メモ

- xxxxxx は、本製品のMAC アドレスの下６桁です。MACアドレスを確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行って、コンフィグプリントを実行してください。
  1.　［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。
  2.　［ユーティリティ］を押します。
  3.　［<］、［>］で「ヒョウジュン N/W プリント」（ネットワークに標準対応していないプリンタのときは、「カクチョウ I/F プリント」）を選択したあと、［V］を押します。
- ［印刷先のポート］に［CANONxxxxxx (Canon Port)］が表示されないときは、「第６章 困ったときには」を参照してください。

4 ［OK］をクリックして、設定を有効にします。

これで印刷を行うコンピュータの設定が完了しました。

AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh）

5
CHAPTER

AppleTalk ネットワークに接続してプリンタを使用するための設定方法について説明しています。

AppleTalk ネットワークで使用するために必要な作業

AppleTalk で使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1 ネットワークボードの取り付けとケーブル（→ネットワークガイド／スタート編）

「ネットワークガイド／スタート編」に従って、ネットワークボードをプリンタに取り付けたあと、ネットワークケーブルを接続します。ただし、ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けは必要ありません。ネットワークケーブルの接続のみを行ってください。

2 Macintosh のネットワークの設定（→ P.5-3）

Macintosh のネットワークの設定を行います。

3 プリンタのプロトコル設定（→ P.5-5）

プリンタのプロトコル設定を行います。以下のいずれかのソフトウェアを使用して、コンピュータ上から設定できます。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント
- Web ブラウザ（NetSpot Console）
  NetSpot Console は、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。

4 プリンタドライバのインストール（→ P.5-10）

Macintosh にプリンタドライバをインストールします。

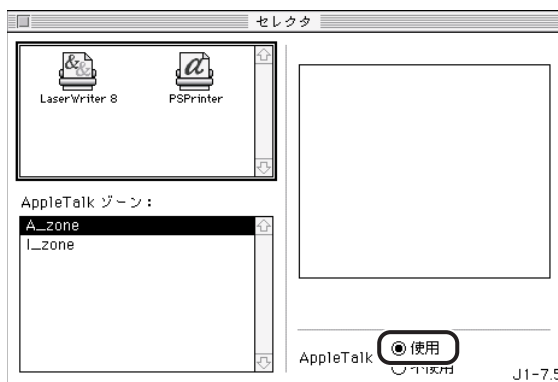
重要　上記 1、3 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

Macintosh のネットワークの設定

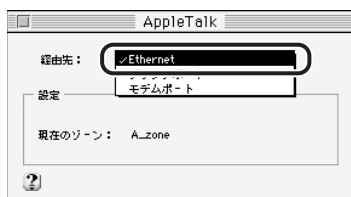
［セレクタ］と、［コントロールパネル］の［AppleTalk］を使って、Macintosh のネットワークの設定を行います。

1 AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。

❑ Apple メニューから［セレクタ］を選択します。

❑ ［AppleTalk］が［使用］になっていることを確認します。［不使用］になっているときは、［使用］をクリックします。

2 AppleTalk 接続方法を［Ethernet］に設定します。

❑ ［コントロールパネル］の［AppleTalk］を起動します。

❑ ［Ethernet］を選択します。

❑ ［AppleTalk］を閉じて、設定を保存します。

Local Talk を経由して Ethernet に接続している環境では、［プリンタポート］を選択してください。

5

AppleTalkネットワークで使用するには（Macintosh）

これで Macintosh のネットワークの設定は完了しました。

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。ここでは、Web ブラウザ（リモート UI）を使用して設定する方法について説明しています。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント
- Web ブラウザ（NetSpot Console）
  NetSpot Console は、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。

重要
- NetSpot Console をお使いの場合は、ネットワーク上にあるいずれかのコンピュータに NetSpot Console がインストールされている必要があります。ネットワーク上にあるいずれかのコンピュータに、NetSpot Console をインストールしてください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書））また、NetSpot Console でプロトコルを設定するには、管理者の権限が必要です。管理者モードにログインしてください。詳しい操作方法については、NetSpot Console のオンラインヘルプを参照してください。
- 上記のソフトウェアで設定を行う場合は、お使いのネットワーク環境で TCP/IP プロトコルが使用できる必要があります。TCP/IP プロトコルが使用できない場合は、NetSpot をお使いください。NetSpot の入手方法は、「ソフトウェアの入手方法」（→ P. 7-28）を参照してください。
- 以下の作業を行う前に、TCP/IP の各項目が設定されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://192.168.0.215/

重要
- Web ブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- Turbolinux 4.0 をお使いの場合は、Netscape Communicator 4.08 で本製品の設定を行うことはできません。他のバージョンの Web ブラウザをお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - · Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザで、クッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

2 [管理者モード] を選択したあと、[OK] をクリックします。

リモート UI が起動します。

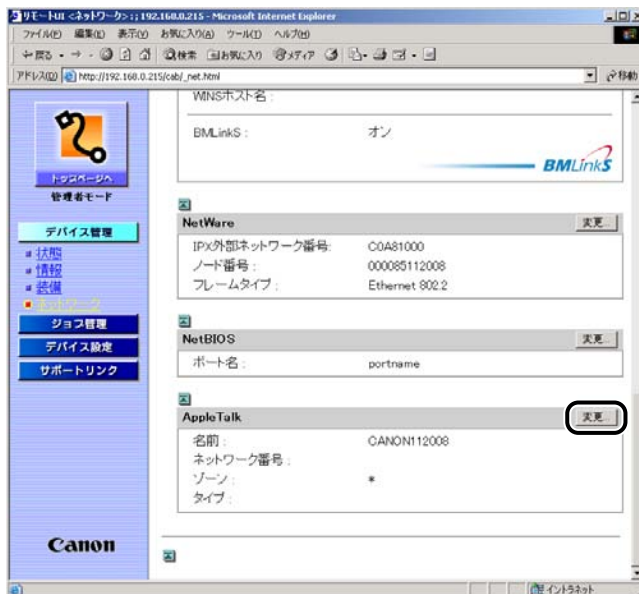
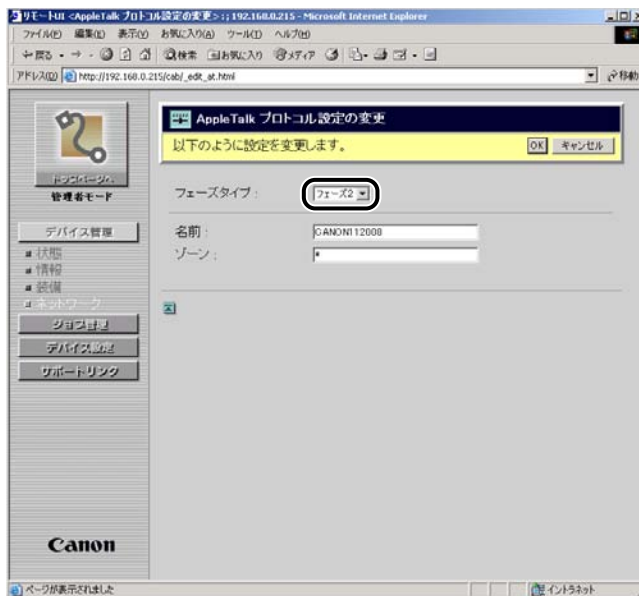
メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[OK] をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

5

AppleTalkネットワークで使用するには（Macintosh）

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［ネットワーク］をクリックします。

［ネットワーク］ページが表示されます。

4 [AppleTalk] の右にある、[変更] をクリックします。

5 [フェーズタイプ] で [フェーズ 2] を選択します。

6 ［名前］にプリンタの名称を入力します。

ここで入力した名称が、Macintosh のセレクタに表示されます。

重要
- プリンタの名称は、半角 31 文字（全角 15 文字）以下にしてください。
- プリンタが同じゾーン内に複数あるときは、それぞれ固有の名称を付けてください。

7 ネットワーク上にゾーンが設定してある場合は、［ゾーン］にゾーン名称を入力します。

8 ［OK］をクリックします。

プリントサーバのリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ
プリントサーバをリセットするときは、左側の［デバイス管理］の［ネットワーク］をクリックしたあと、［リセット］をクリックします。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

プリンタドライバのインストール

プリンタのプロトコル設定が完了したら、印刷を行う各Macintoshにプリンタドライバをインストールして、印刷先の設定を行います。(→LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF取扱説明書))

「LIPS ソフトウェアガイド／本編」(PDF取扱説明書) に従ってプリンタドライバをインストールしたあと、セレクタでプリンタを選択したら、Macintoshの設定は完了です。

6
CHAPTER

困ったときには

操作中に起きたトラブルの解決法について説明しています。

印刷に関するトラブルとその対処方法

印刷に関するトラブルの原因と、その対処方法について説明しています。

TCP/IP ネットワークから印刷できない

原因 1 ネットワークボードとケーブルが、正しく接続されていない。

処　置 次のことを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが、正しく取り付けられていることを確認します。(→ネットワークガイド／スタート編)
- プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。(→ネットワークガイド／スタート編)

メモ　ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けは必要ありません。

原因 2 TCP/IP ネットワークが、正しく設定されていない。

処　置 次のことを確認してください。

- IPアドレスが正しく設定されていることを確認します。DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、DHCP、BOOTP、RARPが動作していることを確認してください。

原因 3 印刷を行うコンピュータが、正しく設定されていない（Windows)。

処　置 次のことを確認してください。

- 正しいプリンタドライバが、インストールされていることを確認します。Windows 95/98/Me から印刷を行うには、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります。(→ LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書))
- 印刷を行うコンピュータの出力先が、正しいプリンタに設定されているか確認します。出力先は、「コントロールパネル」の「プリンタ」または「プリントマネージャ」で確認できます。
- Windows 95/98/Me をお使いの場合は、スプールが正しく設定されていることを確認します。(→プリンタの接続方法：P.3-8)

原因 4 印刷するファイル名が長すぎる。

処　置 通常、LPR は、印刷に使用するアプリケーションソフトウェア名や、ファイル名を元にしたジョブ名を送信します。しかし、ジョブ名が 255 文字以上になると、正常に送信できなくなります。このときは、印刷するファイル名を短くしてください。

NetWare ネットワークから印刷できない

原因 1 ネットワークボードとケーブルが、正しく接続されていない。

処 置 次のことを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが、正しく取り付けられていることを確認します。(→ネットワークガイド/スタート編)ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けは必要ありません。
- プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。(→ネットワークガイド/スタート編)

原因 2 NetWare ネットワークが、正しく設定されていない。

処 置 次のことを確認してください。

- NetWare ファイルサーバが起動していることを確認します。
- NetWare ファイルサーバ上に、十分なディスクスペースがあることを確認します。十分なディスクスペースがない場合は、サイズの大きいジョブの印刷ができないことがあります。
- NetSpot Device Installer、NetSpot Console、NWADMIN、PCONSOLE のいずれかを使用して、プリントキューが正しく設定されていることと、プリントキューが使用可能になっていることを確認します。
- プリンタのネットワーク設定が、正しく設定されていることを確認します。インストールプログラムが起動しますので、(→ NetSpot Device Installer による設定:P.3-4)特に、次の点について確認してください。
  - ・[フレームタイプ]で有効なフレームタイプが選択されている。
  - ・[プリントサーバ名]、[プリンタ番号]が正しく設定されている。

原因 3 印刷を行うコンピュータが、正しく設定されていない。

処 置 次のことを確認してください。

- 正しいプリンタドライバが、インストールされていることを確認します。Windows 95/98/Me から印刷を行うには、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります。(→ LIPS ソフトウェアガイド/本編(PDF 取扱説明書))
- 印刷を行うコンピュータの出力先が、正しいプリンタに設定されているか確認します。出力先は、「コントロールパネル」の「プリンタ」または「プリントマネージャ」で確認できます。

原因４ NetWare サーバから、他のサブネットにあるプリンタにデータを送信できない。

処　置 NetWare サーバからプリンタにデータを送信するときは、NCP バーストモードでデータを送信しますが、お使いのネットワーク環境によっては他のサブネットにあるプリンタへのデータ送信に失敗することがあります。このときは、プリンタのプロトコル設定で NCP バーストモードをオフにしてお使いください。NCP バーストモードは、Web ブラウザ、FTP クライアントを使用して設定してください。（→プリンタの NetWare プロトコル設定：P.7-6）

NetBIOS ネットワークから印刷できない、または［印刷先のポート］に印刷するプリンタのポート名が表示されない

原因１ ネットワークボードとケーブルが、正しく接続されていない。

処　置 次のことを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが、正しく取り付けられていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

メモ

ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けは必要ありません。
プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

原因２ 印刷するコンピュータとプリンタが、異なるサブネットにある。

処　置 本製品は、NetBEUI プロトコルを使用して印刷を行うため、印刷するコンピュータとプリンタの間にルータがあるネットワーク環境では印刷できません。他のプロトコルを使用して印刷するか、ルータを経由しないプリンタに印刷してください。

原因３ 印刷を行うコンピュータの設定が、正しく設定されていない。

処　置 次のことを確認してください。

- 各コンピュータに、正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。プリンタドライバのインストール方法については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」（PDF 取扱説明書）を参照してください。
- 印刷を行うコンピュータの出力先が、正しいプリンタに設定されていることと、スプールが正しく設定されていることを確認します。（→プリンタの接続方法：P.3-8）

AppleTalk ネットワークから印刷できない

原因 1 ネットワークボードとケーブルが、正しく接続されていない。

処　置 次のことを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが、正しく取り付けられていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

メモ　ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けは必要ありません。
プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

原因 2 AppleTalk ネットワークが、正しく設定されていない。

処　置 次のことを確認してください。

- Web ブラウザ（リモート UI）の［ネットワーク］ページで、［AppleTalk］の［変更］をクリックして、各項目が正しく設定されていることを確認します。特に、次の点を確認してください。
- ［フェーズタイプ］で有効なフェーズタイプが設定されている。
- ［ゾーン］でプリンタの存在するゾーンが選択されている。

原因 3 印刷を行うコンピュータの設定が、正しく設定されていない。

処　置 次のことを確認してください。

- ［セレクタ］で正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。
- ［セレクタ］で印刷先が正しいプリンタに設定されていることを確認します。
- ［セレクタ］で AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。
- ［コントロールパネル］の［ネットワーク］または［AppleTalk］で、AppleTalk の接続方法が［EtherTalk］か［Ethernet］の、どちらかになっていることを確認します。

7
CHAPTER

付録

その他の知っておいていただきたい情報や、参考となる情報について説明しています。

NWADMIN、PCONSOLEによるNetWareプリントサーバの設定

NetSpot Device Installer、NetSpot ConsoleがPC対応しているOSがネットワーク上にない場合は、NWADMINまたはPCONSOLEを使用して、NetWareプリントサーバを設定してください。

重要　NWADMINを使ってプリントサービスの設定を行うときは、NWADMINを実行するコンピュータに、クライアントソフトウェアとしてNovell Client（Novell社製のNetWareクライアント）がインストールされている必要があります。

NDSのキューサーバモード／リモートプリンタモードで使用する場合（NetWare 4.xJ以降）

1 **NetWareにAdmin（または同等の権利を持つユーザ）としてログインしたあと、NWADMINを起動します。**

❑ ［ツール］メニューから、［プリントサービスクイックセットアップ］を選択します。

❑ ［プリントサーバ名］に、任意の名前を入力します。

既存のものを使用するときは、右横のボタンをクリックして一覧から選択します。

❑ プリンタの［名前］に、任意の名前を入力します。

❑ キューサーバモードで使用するときは、［タイプ］で［その他／不明］を選択します。
リモートプリンタモードで使用するときは、［タイプ］で［パラレル］を選択したあと、［通信］をクリックします。［ポート］を［LPT1］に、［接続タイプ］を［手動ロード］に設定します。

❑ プリントキューの［名前］に、任意の名前を入力します。

❑ ［ボリューム］にキューを作成するボリュームオブジェクト（ネットワーク上の物理ボリュームを表すオブジェクト）を入力します。

右横のボタンをクリックすると、一覧から選択できます。

❑ 他の項目を設定したあと、［OK］をクリックします。

メモ
- プリントサーバ名は、プリンタのプロトコル設定で必要になりますので、控えておいてください。
- クイックセットアップを行うと、プリンタ番号［0］にプリンタが割り当てられます。キューサーバモードで使用する場合は、プリンタ番号を［0］から変更しないでください。

2 リモートプリンタモードで使用するときは、プリントサーバを起動します。

❑ NetWare ファイルサーバをプリントサーバとして使用する場合は、ファイルサーバで「LOAD PSERVER.NLM」を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

メモ　キューサーバモードで使用する場合は、この手順は必要ありません。

これでNetWareプリントサービスの設定は完了しました。続いてプリンタのNetWareプロトコルの設定を行ってください。（→プリンタのNetWareプロトコル設定: P.7-6）

バインダリモードのキューサーバモード／リモートプリンタモードで使用する場合（NetWare 3.xJ）

1 NetWareにSupervisorとしてログインしたあと、PCONSOLEを起動します。

2 プリントサーバを作成していないときは、プリントサーバを作成します。

❑ ［利用可能な項目］から［プリントサーバ情報］を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

❑ キーボードの［INSERT］キーを押します。

❑ 作成するプリントサーバの名前を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

❑ キーボードの［ESC］キーを押して、［利用可能な項目］一覧に戻ります。

メモ
- プリントサーバ名は、プリンタのプロトコル設定で必要になりますので、控えておいてください。
- 複数の NetWare サーバをお使いで、本製品をキューサーバモードで使用する場合、すべての NetWare サーバで同じプリントサーバ名を使用してください。

3 キューを作成したあと、プリントサーバを割り当てます。

❑ ［利用可能な項目］から［プリントキュー情報］を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

❑ キーボードの［INSERT］キーを押します。

❑ 作成するキューの名前を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

- ❏ 作成したキュー名を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ ［キューサーバ］を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ キーボードの［INSERT］キーを押します。
- ❏ 手順2で作成したプリントサーバを選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ キーボードの［ESC］キーをくり返し押して、［利用可能な項目］まで戻ります。

4 プリントサーバにプリンタを割り当てます。

- ❏ ［利用可能な項目］から［プリントサーバ情報］を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ 手順2で作成したプリントサーバを選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ ［プリントサーバ構成］を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ ［プリンタの構成］を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ ［構成完了プリンタ］一覧でプリンタ番号を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。キューサーバモードで使用する場合は、［0］のプリンタ番号を選択します。リモートプリンタモードで使用する場合は、任意のプリンタ番号が選択できます。

5 プリンタの名称やタイプを設定します。

- ❏ ［名称］に任意のプリンタ名称を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ キューサーバモードで使用するときは、［タイプ］で［定義済み］を選択します。リモートプリンタモードで使用するときは、［タイプ］で［リモートパラレル］を選択したあと、［ポート］を［LPT1］に設定します。
- ❏ 必要に応じて他の項目を設定したあと、キーボードの［ESC］キーを押します。
- ❏ 確認ボックスが表示されたら、［Yes］を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ キーボードの［ESC］キーを押して、［プリントサーバ構成］一覧に戻ります。

6 プリンタにキューを割り当てます。

- ❏ ［プリンタでサービスされているキュー］を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- ❏ 手順5で設定したプリンタ名を選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

❏ キーボードの［INSERT］キーを押します。

❏ 手順 3 で作成したキューを選択したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

7 **キーボードの［ESC］キーを繰り返し押して PCONSOLE の終了確認が表示されたら、［Yes］を選択して、PCONSOLE を終了します。**

8 **リモートプリンタモードで使用する場合は、プリントサーバを起動します。**

❏ 専用のプリントサーバを使用する場合は、そのコンピュータで「PSERVER.EXE」とプリントサーバ名を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

❏ NetWare ファイルサーバをプリントサーバとして使用する場合は、ファイルサーバで「LOAD PSERVER.NLM <プリントサーバ名>」と入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

メモ　キューサーバモードで使用する場合は、この手順は必要ありません。

これでNetWareプリントサービスの設定は完了しました。続いてプリンタのNetWareプロトコルの設定を行ってください。（→プリンタのNetWare プロトコル設定: P.7-6）

7
付録

プリンタの NetWare プロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント
- Web ブラウザ（NetSpot Console）
  NetSpot Console は、プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェアです。

重要

- 上記のソフトウェアで設定を行う場合は、お使いのネットワーク環境で TCP/IP プロトコルが使用できる必要があります。ここでは、Web ブラウザ（リモート UI）を使用して設定する方法について説明しています。TCP/IP プロトコルが使用できない場合は、NetSpot をお使いください。NetSpot の入手方法は、「ソフトウェアの入手方法」（→ P.7-28）を参照してください。
- NetSpot Console をお使いの場合は、ネットワーク上にあるいずれかのコンピュータに NetSpot Console がインストールされている必要があります。ネットワーク上にあるいずれかのコンピュータに、NetSpot Console をインストールしてください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書））また、NetSpot Console でプロトコルを設定するには、管理者の権限が必要です。管理者モードにログインしてください。
- NetSpot Console についての詳細は、NetSpot Console に付属のユーザーズガイド（PDF 取扱説明書）、またはオンラインヘルプを参照してください。
- 以下の作業を行う前に、TCP/IP の各項目が設定されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

リモート UI による設定

1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://192.168.0.215/

重要
- Web ブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- Turbolinux 4.0をお使いの場合は、Netscape Communicator 4.08で本製品の設定を行うことはできません。他のバージョンの Web ブラウザをお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定は、ネットワーク環境によって異なります）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に、本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザで、クッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は、1 つだけ起動することをおすすめします。

2 **［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。**

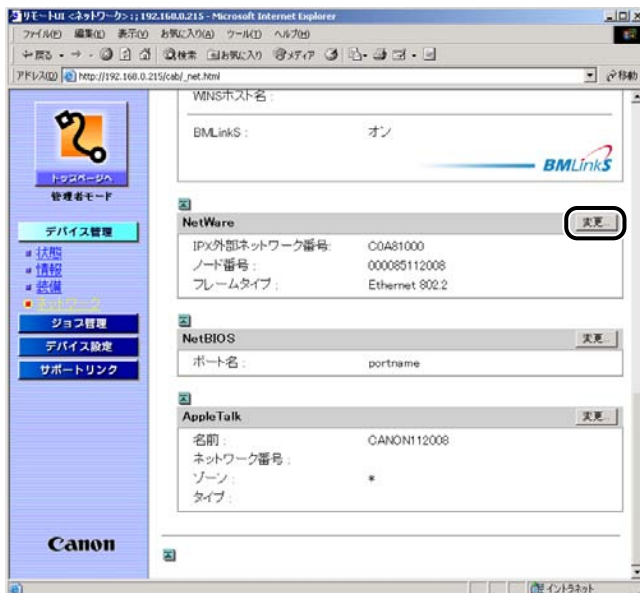
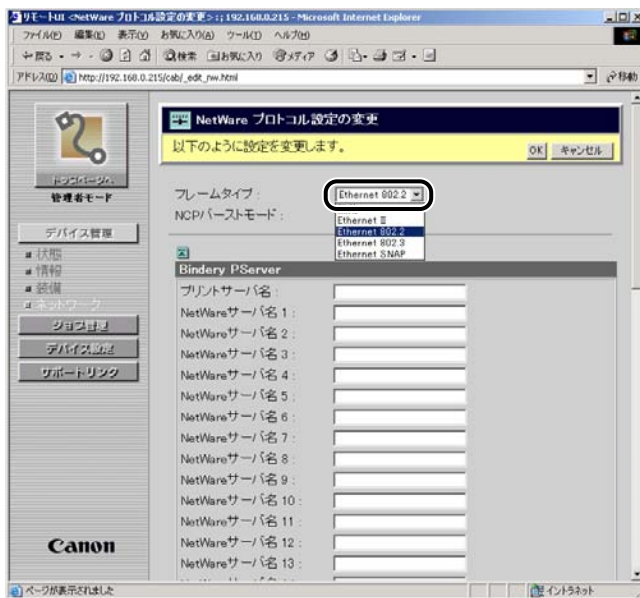
リモート UI が起動します。

メモ
プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

7 付録

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［ネットワーク］をクリックします。

［ネットワーク］ページが表示されます。

4 ［NetWare］の右にある、［変更］をクリックします。

5 ［フレームタイプ］で、お使いの環境で使用しているフレームタイプを選択します。

6 「NetWare の設定」（→ P.3-3）で設定したプリントサービスに応じて、プリントサービスを設定します。

● Bindery PServer を使用する場合：キューサーバモード（バインダリモードのプリントサーバ）

❏ ［プリントサーバ名］に、「NetWareの設定」（→ P.3-3）で作成したプリントサーバ名を入力します。

❏ ［NetWareサーバ名 1］に、NetWareサーバ名を入力します。

複数の NetWare サーバをお使いの場合は、［NetWare サーバ名 2］以降にその他のNetWare サーバ名も入力します。

❏ ［ポーリング間隔］を設定します。

プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定します。

● NDS PServer を使用する場合：キューサーバモード（NDS のプリントサーバ）

❏ ［プリントサーバ名］に、「NetWareの設定」（→ P.3-3）で作成したプリントサーバ名を入力します。

❏ ［NDS ツリー名］、［コンテキスト名］に、プリントサーバがあるツリー名、コンテキスト名を入力します。

コンテキスト名は、255 文字以下にします。

❏ ［ポーリング間隔］を設定します。

プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定します。

● RPrinter を使用する場合：リモートプリンタモード（バインダリモードのプリントサーバ）

❏ ［プリントサーバ名］に、「NetWareの設定」（→ P.3-3）で作成したプリントサーバ名を入力します。

プリントサーバは、4 つまで設定することができます。

❏ ［プリンタ番号］に、「NetWareの設定」（→ P.3-3）で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

● NPrinter を使用する場合：リモートプリンタモード（NDS のプリントサーバ）

❏ ［プリントサーバ名］に、「NetWareの設定」（→ P.3-3）で作成したプリントサーバのアドバタイジング名を入力します。

アドバタイジング名は、通常プリントサーバ名と同じ名称に設定されています。

❏ プリンタ番号に、「NetWare の設定」（→ P.3-3）で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

メモ

- ［BINDERY PSERVER］を選択したときは、16 までファイルサーバを指定することができますが、各ファイルサーバ上に同じ名称のプリントサーバを作成しておく必要があります。
- ［RPRINTER］、［NPRINTER］を選択したときは、4 つまでプリントサーバを指定することができます。

7 ［OK］をクリックします。

プリントサーバのリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ

プリントサーバをリセットするときは、左側の［デバイス管理］の［ネットワーク］をクリックしたあと、［リセット］をクリックします。

これでプリンタの NetWare プロトコルの設定は完了しました。

7

付録

ソフトウェアをアンインストールするには

Windows 95/98/Me にインストールした NetBIOS/NetBEUI Port Monitor ユーティリティをアンインストールするときは、以下の手順で行ってください。

NetBIOS/NetBEUI Port Monitor ユーティリティのアンインストール

1 **[スタート] メニューから [設定] – [コントロールパネル] を選択します。**

2 **[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。**

3 **ソフトウェアの一覧からアンインストールするソフトウェアを選択したあと、[追加と削除] をクリックします。**

確認メッセージが表示されます。

4 **[はい] をクリックします。**

ソフトウェアがアンインストールされます。

ネットワーク設定項目一覧

Web ブラウザ（リモート UI）、FTP クライアント、NetSpot Device Installer、Web ブラウザ（NetSpot Console）を使用すると、本製品の設定を変更することができます。変更できる設定項目は以下のものになります。

メモ

- 以下の一覧で、カッコ内に記載されている情報は、FTP クライアント固有のものです（例：「デバイス名（DEVICE_NAME）」は、NetSpot、Web ブラウザでは［デバイス名］と表示され、FTPクライアントのconfigファイルでは[DEVICE_NAME]と表示されます）。
- 項目名の最後に*1が付いているものは、NetSpot Device Installerでは設定できません。項目名の最後に *2 が付いているものは、NetSpot Device Installer と NetSpot Console では設定できません。これらの項目は、リモート UI、FTPクライアントで設定してください。項目名の最後に *3 が付いているものは、リモート UI のみで設定できます。項目名の最後に *4 が付いているものは、FTP クライアントのみで設定できます。項目名の最後に *5 が付いているものは、設定値を変更できません。
- 文字数は、1byte 文字の場合の設定数です。

■ 一般設定

項目名	内容	工場出荷時の設定
デバイス名（DEVICE_NAME）	デバイスの名称（0 ～ 32 文字）	（空欄）
設置場所（SYS_LOC）	デバイスの設置場所（0 ～ 32 文字）	（空欄）
管理者名（SYS_CONTACT）	デバイスの管理者の名前（0 ～ 32 文字）	（空欄）
管理者パスワード（ROOT_PWD）	デバイスのパスワード（0 ～ 15 文字）	（空欄）
一般ユーザによるジョブ操作（USER_JOB_CONT）*2	一般ユーザモードでのプリンタジョブ操作を許可するかどうか	オフ
SNMPv1 を使用（SNMP_V1_ACCESS_ENB）*2	通信に SNMPv1 エージェントを使用するかどうか	オン
アクセス権限（SNMP_V1_ACCESS_MODE）*2	SNMPv1 エージェントの権限の設定（Read Only/Read Write）	Read Write
コミュニティ名（PUB_COMMUNITY）*2	SNMP のコミュニティ名として参照する文字列（1 ～ 32 文字）	public

項目名	内容	工場出荷時の設定
SNMPv3 を使用（SNMP_V3_ACCESS_MODE）*2	通信に SNMPv3 エージェントを使用するかどうか	オフ
ユーザ名 *5	SNMPv3 で使用するユーザ名の Initial が設定される	–
認証キー / プライバシーキー *3	SNMPv3 で使用する認証キーとプライバシーキー（8 ～ 15 文字）	（空欄）
v3 設定確認 *3	リモート UI の管理者パスワード	（空欄）
MAC アドレスアクセスを制限する（MAC_CONT_ENB）*2	指定した MAC アドレスからのアクセスを許可するかどうか	オフ
MAC アドレスアクセスを制限する方法（MAC_CONT_MODE）*2	指定した MAC アドレスのみアクセスを許可するか、指定した MAC アドレスのアクセスを拒否するかを設定	指定したアドレスのみ許可する
MAC アドレスリスト（MAC_CONT_LIST）*2	MAC アドレスアクセスを制限する MAC アドレスリスト（最大 20 アドレス）	（空欄）
再送回数（EMAIL_RETRY）*2	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの最大再送回数	0
再送間隔（EMAIL_DELAY）*2	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの再送までの時間	5
To アドレス（EMAIL_ADDR）*2	電子メール通知機能でメールを送信する宛先	（空欄）
Reply-to アドレス（EMAIL_REPLY）*2	電子メール通知機能で送信するメールの返信アドレス	（空欄）
通知のタイミング（EMAIL_NOTIFY）*2	電子メール通知機能でメールを送信する条件	すべてオフ
署名（EMAIL_SIG）*2	電子メール通知機能で送信するメールの署名	（空欄）
リンク先（LINK_NAME）*2	リモート UI のサポートリンクページに表示されるリンク先	（空欄）
URL（LINK_URL）*2	リモート UI のサポートリンクページに表示される URL	（空欄）
コメント（LINK_COMMENT）*2	リモート UI のサポートリンクページに表示されるコメント	（空欄）

■ TCP/IP 設定

項目名	内容	工場出荷時の設定
フレームタイプ（TCP_FRAME_TYPE）	TCP/IP で使用しているフレームタイプ	Ethernet II
DHCP によるアドレス設定（DHCP_ENB）	IP アドレスの設定に DHCP を使用するかどうか	オフ
BOOTP によるアドレス設定（BOOTP_ENB）	IPアドレスの設定に BOOTPを使用するかどうか	オフ
RARP によるアドレス設定（RARP_ENB）	IP アドレスの設定に RARP を使用するかどうか	オフ
IP アドレス（INT_ADDR）	プリンタの IP アドレス	192.168.0.215
サブネットマスク（NET_MASK）	サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス（DEF_ROUT）	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
LPD 印刷（LPD_PRINT_ENB）*2	LPD を設定するかどうか	オン
LPD バナー（LPD_BANN）*1	LPD で印刷するときのバナーページの出力方法	オフ
IPP 印刷（IPP_PRINT_ENB）*2	IPP を設定するかどうか	オン
IPP プリンタの URI（IPP_PRT_URI）*1	IPP で印刷するときの URI（1 ～ 255 文字）	printer
Raw 印刷（RAW_PRINT_ENB）*2	Raw を設定するかどうか	オン
Raw モード双方向通信機能（RAW_BIDIR_ENB）*1	Rawで印刷するときに双方向通信をサポートするかどうか	オフ
DNS サーバアドレス（DNS_ADDR）*1	DNS サーバの IP アドレス	0.0.0.0
DNS サーバ動的更新（DDNS_ENB）*1	本デバイスを DNS に動的に登録するかどうか	オフ
DNS ホスト名（HOST_NAME）*1	本デバイスのホスト名	（空欄）
DNS ドメイン名（DOMAIN_NAME）*1	本デバイスの所属するドメイン名	（空欄）

項目名	内容	工場出荷時の設定
SMTP サーバアドレス（SMTP_ADDR）*2	メールサーバの IP アドレスまたは名前	（空欄）
WINS による名前解決（WINS_ENB）*2	WINS による名前解決機能を使用するかどうか	オン
WINS サーバアドレス（WINS_ADDR1）*2	WINS サーバアドレス	0.0.0.0
WINS ホスト名（WINS_HOSTNAME）*2	WINS ホスト名の登録	（空欄）
スコープ ID（NBT_SCOPE_ID）*2	プリンタ、コンピュータの通信範囲を決めるための識別子	（空欄）
TCP/IP 印刷を制限する（TCP_CONT_ENB）*2	印刷できるユーザを制限するかどうか	オフ
TCP/IP 印刷制限モード（TCP_CONT_MODE）*2	指定したIPアドレスからの印刷を許可するかどうか	許可
IP アドレスリスト（TCP_CONT_LIST）*2	TCP/IP 印刷の制限に指定した IP アドレス	（空欄）
SNMP 設定／参照を制限する（SNMP_CONT_ENB）*2	SNMP 設定／参照ができるユーザを制限するかどうか	オフ
SNMP 設定／参照制限モード（SNMP_CONT_MODE）*2	指定した IP アドレスからの SNMP 設定／参照を許可するかどうか	許可
IP アドレスリスト（SNMP_CONT_LIST）*2	SNMP 設定／参照の制限に指定した IP アドレス	（空欄）
SNTP サーバアドレス（SNTP_ADDR）*2	SNTP サーバの IP アドレスまたは名前	（空欄）
(SNTP_CHECK_INTERVAL)*4	SNTP 更新間隔	10 分
IPP 認証を使用（IPP_SEC_ENB）*2	IPP 認証機能を使用するかどうか	オフ
ユーザ名（IPP_SEC_USER）*2	IPP 認証で使用するユーザ名	（空欄）
パスワード（IPP_SEC_PASSWD）*2	IPP 認証で使用するパスワード	（空欄）
IPP 設定確認 *3	リモート UI の管理者パスワード	（空欄）

項目名	内容	工場出荷時の設定
BMLinkS (BML_ENB)*2	BMLinkS を使用するかどうか	オン
Discovery 送信間隔 (BML_DISC_ INTERVAL)*2	プリンタの機器情報をネットワークに送信する間隔（30 分／ 1 時間／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 24 時間）	30 分
会社 / 組織名 (BML_ORGANIZATION)*2	プリンタが設置されている会社や組織の設定	（空欄）
部門名 （BML_BRANCH）*2	プリンタが設置されている部門の設定	（空欄）
ビル名 （BML_BUILDING）*2	プリンタが設置されている建物の名前の設定	（空欄）
階数 （BML_FLOOR）*2	プリンタが設置されている階の設定	（空欄）
ブロック名 （BML_BLOCK）*2	プリンタが設置されているブロック（フロア内の位置）の設定	（空欄）
（G_ARP_ENB）*4	Gratuitous ARP 機能を使用するかどうか	有効

■ NetWare 設定

項目名	内容	工場出荷時の設定
フレームタイプ（NW_FRAME_TYPE）	NetWare で使用しているフレームタイプ	Ethernet 802.2
NCP バーストモード（NCP_BURST_MODE）*2	NCP バーストモードを使用するかどうか（通常はオンにしてください）	オン
Bindery PServer		
プリントサーバ名（PSERVER_BINDERY_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名	（空欄）
NetWare サーバ名（PSERVER_BINDERY）	NetWare プリントサーバがある NetWare ファイルサーバ名	（空欄）
ポーリング間隔（BINDERY_JOB_CHECK_DELAY）	ジョブを確認する間隔（1 ～ 15 秒）	5
NDS PServer		
プリントサーバ名（PSERVER_NDS_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名	（空欄）
NDS ツリー名（PSERVER_NDS_TREE）	NetWare プリントサーバがある NDS ツリー名	（空欄）
コンテキスト名（PSERVER_NDS_CONTEXT）	NetWare プリントサーバがあるコンテキスト名（1 ～ 255 文字）	（空欄）
ポーリング間隔（NDS_JOB_CHECK_DELAY）	ジョブを確認する間隔（1 ～ 255 秒）	5
RPrinter		
プリントサーバ名（RPRINTER_PS_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名	（空欄）
プリンタ番号（RPRINTER_NO）	NetWare プリントサーバに接続しているプリンタの番号（0 ～ 15）	0
NPrinter		
プリントサーバ名（NPRINTER_PS_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名	（空欄）
プリンタ番号（NPRINTER_NO）	NetWare プリントサーバに接続しているプリンタの番号（0 ～ 254）	0

■ NetBIOS 設定

項目名	内容	工場出荷時の設定
ベースプロトコル (LSLM_ENB)*[1]	通信に使用しているプロトコル(NetBIOS を使用するかどうか)	NetBEUI オン

■ AppleTalk 設定

項目名	内容	工場出荷時の設定
フェーズタイプ (ATLK_ENB)	使用しているフェーズタイプ(AppleTalk を使用するかどうか)	フェーズ 2 オン
名前 (APRINT_1)*[1]	セレクタ上に表示される名前(1 ～ 31 文字)	「CANON」+MAC アドレスの下 12 桁
ゾーン (ATK_ZONE)	プリンタのゾーン名	(*)

7
付録

ネットワーク設定に利用できるソフトウェア

本製品のネットワーク設定は、以下を使用して行うことができます。

○：設定可能 ×：設定不可 △：一部の設定が可能(→ネットワーク設定項目一覧：→ P.7-13)

設定の種類	Web ブラウザ（リモート UI）	FTP クライアント	NetSpot Device Installer	Web ブラウザ（NetSpot Console）	ARP/PING コマンド	プリンタの操作パネル
TCP/IP プロトコル設定の準備（→ P.2-4）	×	×	○	×	○	○
TCP/IP プロトコル設定（→ P.2-11）	○	○	△	△	×	×
NetWare プロトコル設定の準備（→ P.3-3）	×	×	○	×	×	×
NetWare プロトコル設定（→ P.7-6）	○	○	△	△	×	×
NetBIOS プロトコル設定	○	○	×	○	×	×
AppleTalk プロトコル設定（→ P.5-5）	○	○	△	○	×	×
電子メール通知機能の設定（→ P.2-43）	○	○	×	×	×	×
特定のデバイスによるジョブの要求の制限（→ P.2-49）	○	○	×	×	×	×

ネットワーク設定の初期化

本製品のネットワーク設定を工場出荷時の値に戻すときは、プリンタの操作パネルから以下の手順を行ってください。

重要　以下のプリンタをお使いのときは、プリンタの操作パネルからネットワーク設定を工場出荷時の値に戻すことはできません。
- LBP-2260/2200/2040/910/880/870/840
- CP680/660

メモ　ネットワーク設定の初期化は、プリンタの操作パネルから行う方法の他に、以下のソフトウェアを使用して行うこともできます。

・Web ブラウザ（リモート UI）：	「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。
・FTP クライアント：	「FTP クライアントを使用してプリンタを管理する」（→ P.2-40）を参照してください。
・Web ブラウザ（NetSpot Console）：	[ネットワーク] ページで、[ネットワークインタフェースボード制御] をクリックします。次に、[ネットワークインタフェースボードの初期化] を選択したあと、[実行] をクリックします。

7
付録

1 プリンタの操作パネルの [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯します。

2 [セットアップ] を押します。

3 以下の項目を順に [<]、[>] で選択したあと、[V] を押します。

「インタフェース」→「ヒョウジュンネットワーク」→「ネットワーク セッテイショキカ」

メモ　ネットワークに標準対応していないプリンタのときは、「ヒョウジュンネットワーク」の代わりに「カクチョウネットワーク」を選択してください。

4 操作パネルに「ジッコウシマスカ？」と表示されたら、[V] を押します。

索引

英数字

7
付録

あ

か

さ

た

な

は

や

ら

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

■ **CD-ROM の代引き配送サービス**
プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。